



CSR報告書 2022

目次

企業理念	02
トップメッセージ	04
不二家のあゆみ	05

お客様とともに

品質管理体制	07
「不二家食品安全の日」について	09
お客様とのコミュニケーション	11

地域・社会とともに

地域コミュニケーション活動	12
他団体との連携	14
不二家ファミリー文化研究所	15

株主・投資家の皆様とともに

適時適切な情報開示／IRツールによる情報開示／ プライム市場への移行	16
株式情報／株主優待制度	17

取引先とともに

持続可能な原材料調達のために	18
安全・安心な原材料調達・産地や取引先工場への訪問/ 原材料の安定供給のため	19
こだわりを持った原料の手配	20

従業員とともに

人材育成・人材活用	21
集合研修／福利厚生	22
ダイバーシティ	23
ワークスタイル／労使協力関係／健康経営	24
労働安全衛生	25
防災への取り組み	26
社内情報の共有	27

環境活動

環境方針／環境目標	28
マネジメント体制	29
事業活動のマテリアルバランス	30
地球温暖化防止への取り組み	31
食品ロス・廃棄物削減への取り組み	33
環境負荷低減への取り組み	34
各事業所における環境保全活動	35
不二家ファミリー文化研究所の活動	36

経営マネジメント

コーポレート・ガバナンスと内部統制	37
リスクマネジメント	38
コンプライアンス	39

会社概要	40
------	----



▲横浜人形の家「ペコちゃん和横濱」



▲「ペコちゃんの森」整備活動



▲環境保全活動

編集方針

不二家では、「お客様」、「地域・社会」、「株主・投資家」、「お取引先」、「従業員」、「環境」の関わりについて、より多くの方にご報告することが、当社の果たすべきCSR(企業の社会的責任)であると考えています。2003年から環境報告書として、また2008年からはCSR報告書として毎年発行し、テーマごとに取り組み内容を報告してきました。

本報告書では、すべてのステークホルダーに当社の活動をご理解いただくことを目的に「食の安全」はもとより、「環境対応」、「地域貢献活動」、「ガバナンス強化」、「コンプライアンス」など、具体的な取り組みについて報告しています。

●報告対象範囲

本報告書では原則として不二家単体を報告対象範囲としています。

●報告対象期間

2021年1月～2021年12月

※一部、当該期間外における取り組みが含まれています。

●発行年月

2022年7月

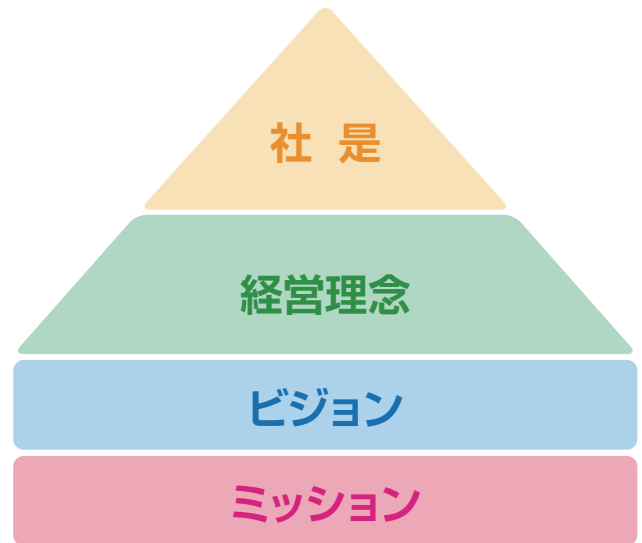
■企業理念

社是 愛と誠心と感謝をこめてお客様に愛される不二家になります

経営理念 常により良い商品と最善のサービス(ベストクオリティ・ベストサービス)を通じて、お客様ご家族に、おいしさ、楽しさ、満足を提供する

ビジョン 世界のすべてのお客様に愛される企業を目指す

ミッション すべてを、「おかあさんの気持ち」で『ベストクオリティ・ベストサービス』を提供します



ファミリーマーク

1961年に、アルファベットの「F」に楕円と花びらを組み合わせた不二家の企業マーク『ファミリーマーク(Fマーク)』が誕生しました。この『ファミリーマーク(Fマーク)』の「F」は「FUJIYA」のFであるとともに、5つの意味も表現しています。

20世紀を代表する産業デザイナーであるレイモンド・ローウィ氏がデザインを手掛け、全国どこでも一目見て不二家とわかるような特長的なファミリーマークは、誕生から数十年を経た現代においても、多くの不二家の製品や店舗のデザインを飾っています。

- amiliar ~親しみやすい~
- lower ~花のような~
- antasy ~夢~
- resh ~新鮮なアイデアに満ちた~
- ancy ~高級な品質~



ステークホルダー

不二家は、ステークホルダーの権利・立場や企業倫理を尊重する企業風土を醸成し、ステークホルダーとの健全な協働関係を構築することを目指しています。

SDGs(Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)とは、2015年に国連が定めた持続的な開発に関する17の目標と169のターゲットのことで、国際社会共通の目標です。2030年までに貧困や飢餓、働きがいや経済成長、気候変動対策などの世界が抱える問題を解決するために、各国政府だけではなく、民間企業も日々の活動を通して取り組んでいくことが求められています。ここではステークホルダーに関わる当社の取り組みのアイコンを掲載しています。



①お客様に対して

品質にこだわり、技術を磨き、チャレンジ精神をもって、最高の商品と最善のサービスを提供しています。職場環境は常に清潔を保ち、商品の安全確保のため一切の妥協を許さず、商品及びサービスに対するお客様のクレームをゼロにする運動を推進しています。



②地域社会に対して

良き企業市民として、健全な企業活動により収益を確保し、税金を公平に負担し、地域社会の発展に寄与しています。また、社会貢献活動に積極的に関与し、地域社会の子供たちが健やかに育ち、ご家族の絆が深まるように活動しています。



③環境に対して

「環境基本理念」及び「環境基本方針」にもとづき、低炭素社会、循環型社会の実現に寄与する「地球にやさしい企業」を目指し、活動しています。



④株主・投資家に対して

全ての株主の権利及び平等性を実質的に確保し、健全な企業経営を推進することで企業価値を高め、利益を適正に還元することで受託者責任を果たし、株主との長期的な信頼関係の構築を図っています。

⑤取引先に対して

取引先に不当な要求はしない、取引先の不当な要求に屈しない。取引は常に公平かつ公正で、その内容は、顧客の創造、産業界の発展に寄与するものであることを目指しています



⑥従業員に対して

一人ひとりを個人として尊重し、従業員の提案活動を歓迎する気風を醸成し、風通しの良い組織運営を推進しています。また、従業員の健康に配慮し、労働災害の撲滅を目指しています。さらに、平等な機会を保障し、公正な待遇を実現し、従業員が家族に対する責任を十分果たすことができるよう配慮しています。





代表取締役会長

山田 憲典

代表取締役社長

河村 宣行

当社は、1910年に横浜元町で小さな洋菓子屋として創業してから112年、長きにわたりお客様とともに時代の変化のなかを歩んでまいりました。

現在の不二家グループは、洋菓子、製菓、外食、飲料などの事業を中心に、国内はもとより海外にも展開しております。事業領域がどのように広がろうとも、私たちにとって一番重要なのは「安全、安心な商品を提供すること」です。そのために、FSSC22000、ISO22000、あるいはHACCPやAIBフードセーフティなどのシステムを活用した食品安全衛生管理を着実に実行しながら、「クレームゼロ」を目標に取り組んでおります。

そして、同時にCO₂削減、食品ロス削減などの活動を通して、環境保全や資源の有効活用に真摯に向き合い、持続可能な開発目標(SDGs)を含めた社会の共通課題について、企業責任を果たしてまいります。

また、私たちの事業が継続的に発展し、社会的な責任を果たしていくためには、従業員一人ひとりの意識と成長が必要です。当社では、働き方改革、従業員教育などに積極的に取り組み、労働災害の撲滅や、ダイバーシティの推進などにも力を入れております。ペコちゃんに象徴される笑顔溢れる従業員の活動を通じて地域・社会との交流を深めることで、世界のすべてのお客様に愛される企業でありつづけることが、長期的な企業価値向上につながると考えています。

当社は、2022年4月から東京証券取引所プライム市場へ移行いたしました。これを機に、これまで以上の環境対応をはじめとする社会への貢献を進め、またガバナンス強化、コンプライアンス及びリスク管理の徹底に取り組み、ESG経営を推進していきます。

本報告書を通じて、当社の取り組みやその活動内容についてご理解いただくとともに、ご意見やご感想などをいただければ幸いです。

不二家のあゆみ

- 1910年** 藤井林右衛門が横浜元町に洋菓子店を開店
- 1922年** ショートケーキ発売
- 1930年** 合名会社不二家設立(出資金10万円)
- 1935年** ハートチョコレート発売
- 1938年** 6月 株式会社第二不二家設立(資本金20万円)
9月 合名会社不二家を合併(資本金60万円)
12月 株式会社第二不二家の商号を、株式会社不二家と改称
- 1950年** 不二家のキャラクター「ペコちゃん」誕生
- 1951年** ミルキー発売
「ペコちゃん」のボーイフレンドとして「ポコちゃん」誕生
- 1954年** ポップキャンディ発売
- 1962年** 東京、大阪、名古屋の各証券取引所市場第二部に株式上場
ルックチョコレート発売
不二家乳業株式会社設立
- 1963年** フランチャイズ第1号店 京都伏見店開店
- 1964年** ネクター発売
- 1965年** 東京、大阪、名古屋の各証券取引市場第一部に株式上場
- 1968年** ホームパイ発売
- 1972年** 株式会社不二家東北(旧:山交フードサービス)設立
- 1973年** 株式会社不二家システムセンター設立
- 1974年** 不二家サンヨー株式会社設立
- 1975年** レモンスカッシュ発売
- 1978年** 株式会社不二家フードサービス
(旧:ロードサイドレストラン)設立

1910年



©新関コレクション

1922年



※昭和30年代のショートケーキ

1950年



1951年



1954年



1962年



1963年



1964年



1968年



1975年



- 1984年** カントリーマアム発売
- 1989年** アンパンマン商品シリーズ発売
株式会社ダロワイヨジャパン設立
- 1994年** ペコちゃんのほっぺ発売
不二家テクノ株式会社設立
- 1998年** 不二家キャラクター
「ペコちゃん」「ポコちゃん」の人形が立体商標として
特許庁より認められる
- 1999年** 「ミニミニペコちゃん」発売
- 2003年** 不二家ファミリー文化研究所設立
- 2004年** 不二家(杭州)食品有限公司設立
- 2007年**
 - 1月 消費期限切れ原料使用に端を発する一連の
問題により、生産・販売がほぼ停止する
 - 2月 AIBフードセーフティの取り組み開始
 - 3月 山崎製パン株式会社と業務資本提携を締結し、
停止していた生産・販売が再開される
- 2008年**
 - 1月 「不二家食品安全の日」制定
 - 7月 本店所在地を東京都文京区に変更する
 - 11月 新たな第三者割当増資により、
山崎製パン株式会社の子会社となる
- 2010年** 不二家創業100年
- 2014年** 株式会社スイートガーデンの株式を取得(子会社化)
- 2017年** 「ルック4(チョコレートコレクション)」発売
- 2018年** 銀座数寄屋橋の不二家広告塔を、映像が流れる
「ペコちゃんビジョン」にリニューアル
- 2019年** 不二家サンヨー株式会社が不二家飲料果実株式会社へ
社名変更
- 2020年** 「カントリーマアムチョコまみれ」発売
「ルック3(ホワイトラバース)」発売
- 2021年** 不二家創業111周年に向けた事業再編や周年施策を実施
ミルクィー発売70周年
株式会社スイートガーデンが株式会社不二家神戸へ
社名変更
株式会社不二家フードサービスを吸収合併
株式会社不二家東北を吸収合併

1984年



1989年



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

1994年



1998年



2007年



2008年



2017年



2020年



2021年



品質管理体制

お客様と不二家の信頼関係は、商品のおいしさと同時に、安全な品質の上に成り立っていると考えます。商品のおいしさを追求するとともに、お客様に安心してお召し上がりいただける商品を提供する努力を、企業活動の最優先課題として取り組んでいます。

〈食品安全品質方針〉

- (1) 当社のお客様に満足いただける、安全で品質のよい商品とサービスを提供します。
- (2) 関連法規を守り、安全・安心な食品安全マネジメントシステムを確立し、運用します。
- (3) 食品安全マネジメントシステムの有効性を担保するため、継続的な改善を行います。
- (4) 食品安全教育を徹底し、食品安全意識の向上及び食品事故の発生防止に努めます。
- (5) 風通しのよい企業風土を作り、社内及び外部関係者との積極的なコミュニケーションを図ります。

食品安全品質方針の達成のため、各部門の目標を設定し、レビューするとともに、全体に周知徹底します。

2019年3月26日

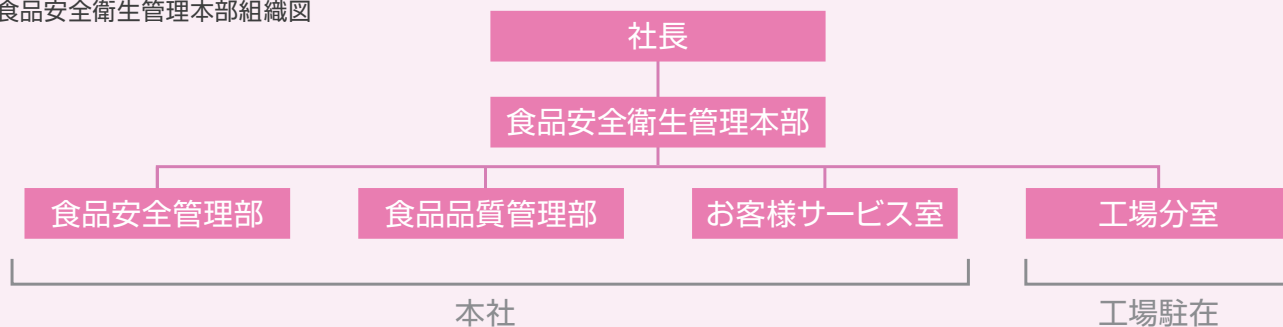
株式会社 不二家 代表取締役社長 河村 宣行

不二家は、社長直轄の組織である食品安全衛生管理本部を中心に、常にお客様の視点に立ち、さらなる満足をご提供するため、食品安全品質方針にもとづき全ての部門において安全・安心な商品作りに取り組んでいます。

食品安全衛生管理本部は、従業員に対し食品衛生に関する正しい情報や手法を提供することによって、お客様に満足していただける安全な商品をお届けすることを使命としています。

「食品安全管理部」、「食品品質管理部」、「お客様サービス室」の3部門体制のもと、組織強化を図っており、また、各工場に食品安全衛生管理本部の組織として分室を設置し、業務の独立性を高め、チェック機能を強化しています。

食品安全衛生管理本部組織図



AIBフードセーフティへの取り組み

不二家では2007年2月よりAIBフードセーフティの取り組みを開始し、現在では洋菓子製造6工場、菓子製造3工場のすべての工場及びレストラン店舗にまで取り組みを拡大しています。AIBフードセーフティとは原材料の入荷から製品出荷までの安全性を確保するために100項目以上の要求事項が記載された「AIB国際検査統合基準」に則って、食品安全衛生管理を有効に機能させるために行う活動です。

①清掃活動

マスタークリーニングスケジュール(清掃計画)を作成し、清掃手順にもとづいて製品に触れる箇所から生産機械の内部まで徹底的に清掃を行っています。

②有害生物管理

有害生物(そ族、昆虫類)に対して、毎月のモニタリングや週1回の点検をもとに食品への汚染をなくすべく対策を実施しています。

③アレルギー管理

アレルギー物質が含まれる原料については、保管場所の分けや生産器具の使い分けなどの厳しい管理を行うことで、アレルギーが含まれていない製品への混入を防いでいます。

④フードディフェンス(食品防衛)

各工場では食品テロが起こることを想定し、管理体制に不備はないかを定期的に見直すことで、お客様の安全・従業員の生活・商品ブランドの価値を守っています。

⑤自主検査

各工場において毎月、「AIB国際検査統合基準」に適合しているか確認する自主検査を実施しています。自主検査によって抽出された不適箇所は、月1回開催する「食品安全衛生委員会」で改善進捗確認され、工場内の一般衛生管理レベルを向上させています。

アレルギー管理の事例



食品安全マネジメントシステム及びHACCPの取り組み

不二家では、食品安全管理体制の更なる強化を目的として、製造工場を中心としてFSSC22000をはじめとする第三者機関による食品安全の認証※を取得しています。

洋菓子店舗とレストランでは「HACCPの考え方にもとづいた衛生管理計画」を遵守し、日々徹底した衛生管理を行っています。

今後も、食品安全マネジメントシステム及びHACCPの活動を主軸に、お客様に安全・安心な商品をお届けできるよう努めています。

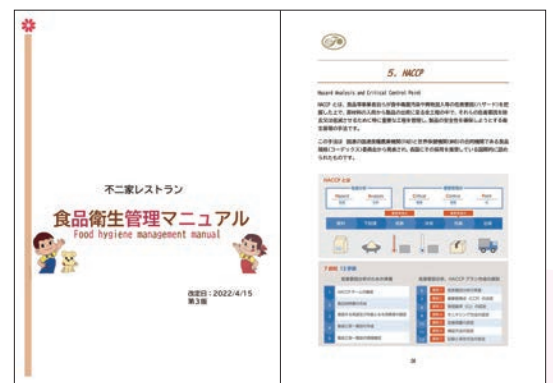
※ISO22000、FSSC22000及びJFS-Bの認証を取得



▲FSSC22000外部審査の様子



▲使用禁止備品ポスター(店内掲示)



▲レストランHACCP対応マニュアル

■「不二家食品安全の日」について

2007年1月期限切れ原料使用に端を発した一連の問題が起きたことから、毎年1月11日を「不二家食品安全の日」と定め教育を実施しています。この日は、過去の歴史と向き合い、“二度と起こしてはいけない”という思いを従業員一人ひとりが再認識し、決意を新たにする日です。この15年で社員の平均年齢は大きく若返り、一連の問題を経験していない社員が多くなりました。これからもさらに増えていく中で、「この問題を風化させないために、自分は今何をすべきか考える」ことを目的とした「教育」を行なっています。

今回の「不二家食品安全の日」の教育は、コロナ禍のなか生産工場を中心にオンラインでつなぎリアルタイムで実施し、全従業員に対しては動画配信にて実施しました。

「3部構成による教育内容」

1

「2007年の振り返り」と題した当時の法律上の問題点や改善策、作られたルールについての説明

2

2011年に作られた冊子「後輩たちに語り継ぐ体験談集」から当時のリアルな体験談を朗読とスライドで紹介

3

食品安全のための取り組みである「FSSC22000」・「HACCP義務化に対応した店舗でのチェック表」の紹介

この教育を通し、今自分の立場ですべきことを考え、回答する形式で実施しました。当時の事実を客観的に把握し、実際対応に当たった従業員の話聞くことによって、経験していない従業員もより現実的に捉えることが出来ると考えています。

一連の問題は「工場で起こったこと」ですが、今後は「どこでも起こり得るリスクを持っている」と認識し、工場・営業・店舗・本部の垣根を越えた相互理解のもと、従業員一同「食の安全」への取り組みをさらに強化、継承してまいります。



▲ 講義前の河村社長挨拶の様子



▲ オンラインで会場をつなぎ開催

受講後の回答を一部抜粋

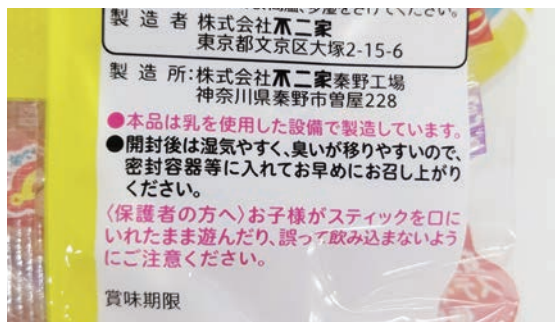
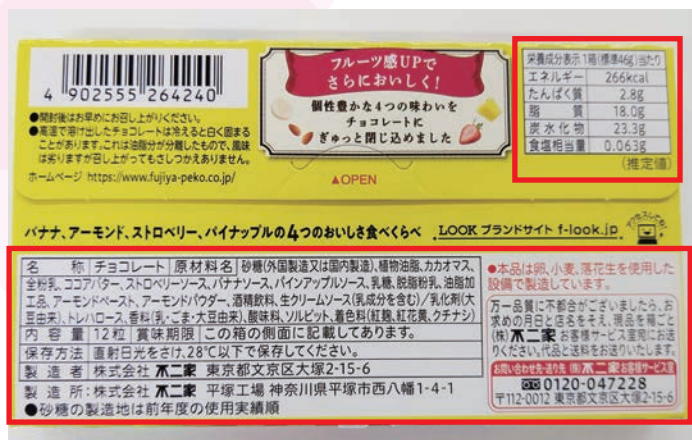
- ・改めてお客様に喜んでいただくためには、当たり前のことだが、決められたルールを遵守して運用していくことが重要であると学びました。
- ・一つの過ちが、長きに渡り築いてきた信用を失ってしまうことを痛感した。どの部署にいても、食品安全に関わる知識をしっかりと学んでおくことが義務だと実感しました。
- ・毎年この教育を受けているが、改めて身が引き締まる思いになりました。食品安全に対するルールや手順は、その時代に合わせた見直しと更新が必要であり、人が入れ替わっても、変わらず安全・安心な食品が提供できるよう若い世代に伝えていきたいです。

※2022年1月11日「不二家食品安全の日」教育の内容です。

商品のパッケージについて

食品表示法や景品表示法等の法令遵守を前提として、商品のイメージや原材料、アレルギー情報、栄養成分等の表示について見やすくわかりやすく誤認を与えないよう心がけています。また、お子様が召し上がることの多い商品では、食べ方についてのイラストや保護者の方へ向けた注意文を載せる等、商品を安全においしく召し上がっていただけるように日々努めています。

そのほかにも、商品のアレンジレシピを紹介する等、お客様が楽しめる工夫もしています。



▲見やすく分かりやすい原材料、アレルギー情報、栄養成分等の表示

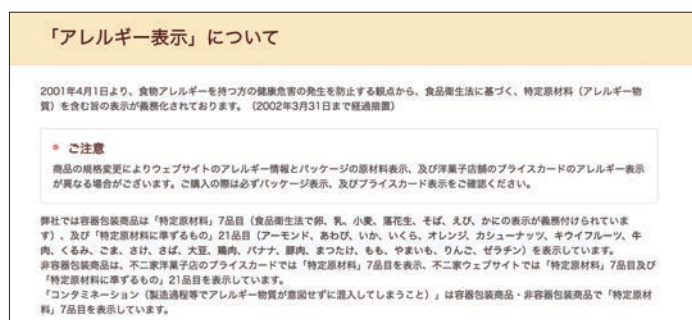
▲保護者の方への注意文

アレルギー表示について

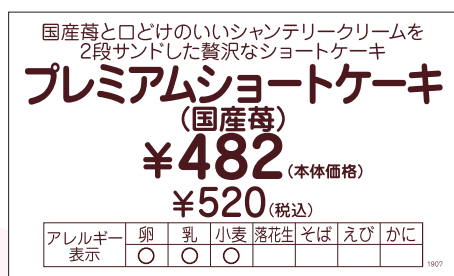
商品パッケージには、アレルゲンを含む原材料がわかるように、原材料別にアレルゲンを個別表示しています（一部商品を除く）。また、アレルゲンのコンタミネーションについては、文字の色や大きさを変える等、一目でわかる表示作りに取り組んでいます。

洋菓子店舗で販売しているパッケージの無いケーキ等は、価格や商品名を記載しているプライスカードにアレルゲン情報を表示しています。特定原材料の使用やコンタミネーションの有無を「○」や「△」を使い、どなたにもわかりやすいデザインを施しています。

また、Webサイト上にも商品別にアレルギー情報を掲載し、お客様が安心して商品を選択できるような努めています。



▲Webサイトでの情報掲載



▲プライスカードの表示例



▲各商品ページでアレルギー情報を掲載

■お客様とのコミュニケーション

お客様への情報発信

不二家ウェブサイトでは商品情報、店舗情報など、お客様が必要とされる情報を積極的に発信しています。お客様に安全な商品をお届けするための「不二家の取り組み」や、お客様から多く寄せられる質問を回答とともに掲載する「お客様窓口」など、コンテンツを充実させ、積極的な情報発信を行っています。

今後も最新の情報をお客様にお届けできるよう努めていきます。



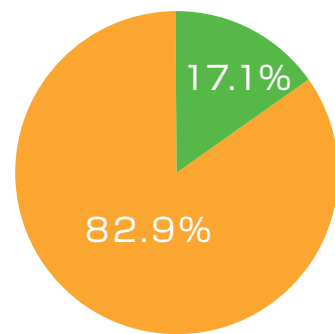
お客様からいただいた声

2021年1月から12月までの1年間に、お客様から17,520件のお問い合わせやご意見、ご指摘をいただきました。その内訳は、14,524件(82.9%)がお問い合わせ・ご意見であり、2,996件(17.1%)がご指摘事項(クレーム)でした。

お問い合わせ・ご意見のうち57.4%が商品内容や商品の販売店、洋菓子店舗やレストランの営業についてのお問い合わせで、それ以外は不二家や商品ファンの方のご意見(7.8%)、商品の特性(7.2%)、キャンペーンについて(6.2%)、アレルギー情報など商品の安全性(4.8%)等でした。

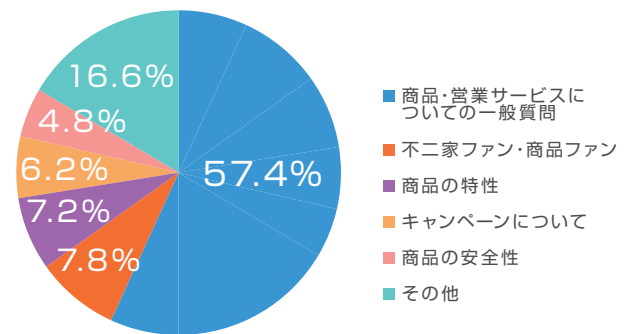
商品の情報や特性(栄養成分、原材料など)については商品ページに掲載することで、お客様が必要とする情報にアクセスしやすいよう努めています(洋菓子やレストランメニュー等一部を除く)。

2021年1年間にお客様からいただいた声(17,520件)



■ ご指摘事項 ■ お問い合わせ・ご意見

お問い合わせ・ご意見の内訳(14,524件)



■ 商品・営業サービスについての一般質問
■ 不二家ファン・商品ファン
■ 商品の特性
■ キャンペーンについて
■ 商品の安全性
■ その他



▲お客様からいただいたお手紙(画像はぼかし処理をしています)

お客様の声を商品やサービスに活かして

お客様からいただいたご意見について、関係部門に共有し、対応可能な内容については商品やサービスに反映させています。

過去の反映例



お客様からのご意見

飲料の紙容器底面に200307と記載されているが、賞味期限2003年7月と勘違いしてしまう。

対応

飲料の企画部門で調整し、20.03.07(賞味期限2020年3月7日の意味)と分かりやすくなるように数字の間に点を入れた表記に変更しました。



■地域コミュニケーション活動

こども宅食

子どもの貧困を解決するために東京都文京区とNPO法人などの6つの団体が協働しスタートした「こども宅食」に、継続的に協力をしています。「こども宅食」は経済的に困窮している子育て世帯に食品を無償で届けることをきっかけに見守り、必要な支援につなげ、地域や社会からの孤立を防ぐことを目的としたプロジェクトです。2021年は、年6回の配送が実施され「カントリーマアム」「ホームパイ」「ミルキー」などのお菓子を寄付しました。

その支援活動が評価され、「文京区こども宅食2021年度事業報告会」にて感謝状を頂戴しました。今後も、不二家のお菓子を通じ、社会の担い手となる子どもたちの未来を応援していきます。



▲感謝状

横浜こどもホスピス

認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクトが運営する、生命に関わる病気や状況で治療や療養生活を送るお子さまとご家族の「家族の時間」を支え、地域とのつながりを育むコミュニティ型の通所施設「こどもホスピス」「うみとそらのおうち」(神奈川県横浜市)が、2021年11月に開設され、不二家は本施設の開設意義に賛同し支援しています。

2021年12月に開催されたクリスマス会や、クリスマス期間中に本施設をご利用されたお子様とご家族向けに、クリスマスプレゼントとしてお菓子を提供しました。今後も、大切な「家族の時間」に寄り添い協力していきます。



▲クリスマスプレゼントの提供

「児童虐待防止」啓発活動への協力

2020年から神奈川県児童相談所と連携し、体罰未然防止普及啓発活動に協力しています。さまざまな普及活動により、大人だけでなく子どもにも体罰未然防止の認識を広げ、子どもが安心して生活できる環境を作ることを目的としています。11月の児童虐待防止推進月間では、神奈川中央交通バス車内のデジタルサイネージを活用しペコちゃん、ポコちゃんが登場するPR動画を公開しました。また、神奈川県所管地域の公立小学校の児童へ配布する啓発カードにも、ペコちゃんとポコちゃんが登場しています。今後も児童虐待防止への啓発活動に協力していきます。



▲子ども家庭110番カード

横浜人形の家企画展「ペコちゃんと横濱」

2021年10月～2022年1月に、横浜人形の家(神奈川県横浜市)主催で開催された企画展「ペコちゃんと横濱」に協力しました。横浜・元町で創業した不二家の歴史や、誕生当時を再現した店頭ペコちゃん人形、歴代のミルクパッケージ、グッズなどを展示。創業111年を迎えた不二家の歴史を改めて多くのお客さまにお伝えするイベントとなりました。

また、開催期間中はさまざまなイベントが実施され、12月のグリーティングイベントではペコちゃんと来場者一組一組との記念撮影やじゃんけん大会を行うなど、皆様にお楽しみいただきました。



▲ペコちゃんと横濱



▲グリーティングイベントの様子

神奈川県警察本部との連携

2021年5月17日～6月16日の1ヶ月間、横浜・元町発祥として神奈川県に所縁のある不二家と神奈川県警察本部とが連携し、特殊詐欺防止啓発活動を実施しました。

神奈川県内にある不二家レストラン9店舗と不二家洋菓子店11店舗を対象に、店頭ペコちゃん人形に詐欺注意のプラカードを装着し、防犯の呼びかけを行いました。また、不二家レストランでは、テイクアウトやデリバリー利用時にA4サイズの防犯チラシ封入し、詐欺被害への注意喚起に取り組みました。



▲プラカードを装着し防犯を呼びかけ

こども霞が関見学デー

夏休みに、親子の触れ合いを深めながら広く社会を知ることがを目的に、霞が関の各府省庁が連携して毎年開催される「こども霞が関見学デー」に参加しています。2020年度は中止となりましたが、2021年度はオンラインイベントとして開催され、不二家は農林水産省「食品企業のお仕事を見たり、体験したりしてみよう! ~フード・コミュニケーション・プロジェクト~」に参加し、『ミルクができるまで』を公開しました。

現在は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大防止の観点から、「ペコちゃんが行く! 不二家キャラバン隊」と「ペコちゃんキッズアカデミー」の活動を休止していますが、2022年度はオンラインでのイベント開催などを検討し、全国の子どもたちに「笑顔の時間」をプレゼントしていく予定です。

吉祥寺ハロウィンフェスタ

2021年10月に開催された「吉祥寺ハロウィンフェスタ2021」にお菓子を協賛し、イベントを盛り上げました。今年リアルとオンライン開催のハイブリット形式が採用され、洋菓子事業部からも「FUJIYA Heart Collection 吉祥寺」がキーワードラリーの協力店舗として参加しています。

■他団体との連携

ベトナム中部台風の被災地を支援

2020年秋に発生したベトナム中部台風の被災地に、公益財団法人国際開発援助財団(以下:FIDR)を通じ、キャラクターライセンス部で企画した衣類などのペコちゃんグッズを提供しました。

新型コロナウイルスの感染拡大によるベトナム国内での厳しい移動制限により、すぐには被災地に届けられませんでした。2021年のクリスマスイブになり、ようやく被災地のみなさん一人ひとりに手渡すことができました。少しずつ復興の兆しが見えはじめてきた現地のみなさんには思いもかけぬクリスマスプレゼントとなりました。



▲ペコちゃんグッズを受け取った様子
(写真提供:国際開発援助財団)



▲ベトナム事務所の大槻所長(右)から受け渡しの様子
(写真提供:国際開発援助財団)

チャイルド・スポンサーシップへの参加

2020年より、特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン(以下:WVJ)※の活動の一環である「チャイルド・スポンサーシップ」に参加しています。この活動は、途上国の子どもの健やかや成長のために、子どもを取り巻く環境を改善する長期的な支援を行い、子どもたちと地域の人々が“未来を切り拓く力”をつけられるように支えるものです。不二家はこの活動を通じて子ども達を支援しています。

※子どもたちとその家族、そして彼らが暮らす地域社会とともに、貧困や紛争、自然災害等のために困難な状況で生きる子どもたちを支える活動を行う、世界最大規模の国際NGOです。その日本組織として、設立されたのがワールド・ビジョン・ジャパンです。



▲チャイルド・スポンサーシップ
(写真提供:特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン)

第32回ヤマザキ「ラブ・ローフ」募金への協力

「食べ物や水がなくて苦しんでいる、世界の子どもたちを助けたい」思いからFIDRとWVJが共催し実施しているヤマザキ「ラブ・ローフ」募金に、協力しています。全国の洋菓子店やレストランを中心に、本社、菓子事業本部の各営業支店、関連会社などに募金箱を設置し、全社的な取り組みとして実施しています。



▲洋菓子店舗での取り組み

不二家ファミリー文化研究所とは

不二家ファミリー文化研究所は、私たち不二家の「もっともっとファミリーの幸せに貢献していくためには何が出来るだろう?」という想いから2003年4月に誕生しました。

テーマは「伝えていきたい自然 伝えていきたい家族の絆」。

自然から生み出される食材を扱う私たちにとって、言うまでもなく大切な「自然」を守っていくこと。そして、「ファミリーの不二家」という理念のもと、お菓子を通じて家族の幸せな時間を作るお手伝いをしてきたこと。それらのことを、今後も具体的に行動し伝えていくための研究所です。

ウェブサイト「ペコちゃんの森」

不二家ファミリー文化研究所の設立とともに、ウェブサイト「ペコちゃんの森」を立ち上げています。

ウェブサイト「ペコちゃんの森」は、毎月25日に定期更新を行い、不二家ファミリー文化研究所が行うさまざまな活動を、楽しみながらご覧いただけるご報告の場になっています。また、お客様とのコミュニケーションの場としても活用しています。

活動内容

不二家ファミリー文化研究所は、「家族について考え、絆を深めていただけるきっかけ作りのお手伝い」や、「次世代に残していきたい自然や文化についての知識を、私たち自身が深め、伝える活動」「お菓子に対する興味喚起や情報の提供」などを行っています。

具体的な活動として、ウェブサイト「ペコちゃんの森」の運営や、長野県黒姫にある「ペコちゃんの森」の整備活動への参加、「食育」や「自然」、「家族の絆」をテーマにしたイベントの企画、運営及び支援をしています。



ウェブサイト「ペコちゃんの森」コンテンツ

(<https://www.fujiya-peko.co.jp/mori/>)

◆ 親子イベントなどの公募

「食育」「自然」「家族の絆」などをテーマにしたイベントの紹介や参加募集の告知、全国の児童施設を訪問している「ペコちゃんが行く! 不二家キャラバン隊」の訪問先募集の告知などを行っています。

◆ 「スマイル」をテーマにした川柳の募集

家族の絆を感じる出来事、笑顔になる家族とのエピソード、家族に起こった面白いハプニングなどをテーマにした川柳を募集しています。

◆ 世界の文化についてのご紹介

「ERIKO&ペコちゃんの旅」では、モデル・定住旅行家のERIKOさんが、世界のさまざまな国・地域で、現地の人々の家庭で暮らし、その食文化や、生活習慣、季節のイベントや誕生日などのお祝いについて、ペコちゃんと一緒に、写真を交えて紹介しています。

◆ アンケート調査の実施

「家族」や「夫婦」、「日本の文化」など、さまざまなテーマを基にアンケート調査を実施し、調査結果を毎月ご紹介しています。

このほかにも、パソコンやスマートフォンでご利用いただけるペコちゃんの「壁紙カレンダー」の無料配信や、不二家ファミリー文化研究所が参加したイベントのご報告、黒姫のペコちゃんの森の様子なども、随時ご紹介しています。



株主・投資家の皆様とともに

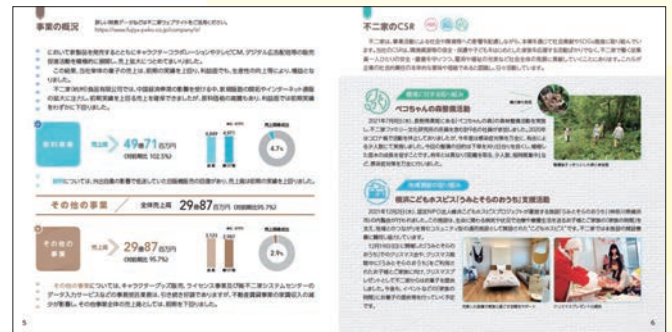
■ 適時適切な情報開示

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向けて、社長自ら出席する決算記者会見の実施や機関投資家、アナリストとの対話など積極的に行なっています。

また、決算短信、有価証券報告書、四半期報告書、コーポレート・ガバナンス報告書など、当社WEBサイトに掲載しています。さらに、一般株主様向けに内容をわかりやすくまとめた「報告書」の掲載など、適時適切な情報開示を行い、株主・投資家の皆様に正確な会社情報をお伝えしています。

報告書

事業活動の概況などに加え、不二家の新しい取り組みや新商品情報など、内容を充実させ、株主様のお手元にお届けしています。不二家Webサイトにも報告書を掲載しています。



■ IRツールによる情報開示

不二家はIRツールを使って、株主・投資家の皆様と綿密なコミュニケーションを図っています。

Webサイト

IR関連ニュースによる情報発信や財務ハイライトページなど、各種IR情報を充実させるとともに、より見やすく、わかりやすい情報の提供に努めています。

<https://www.fujiya-peko.co.jp/company/ir/>



■ プライム市場への移行

当社は2022年4月4日をもって、東証第一部からプライム市場※へと移行しました。プライム市場上場会社として、今後も企業価値の向上に取り組んでまいります。

※国内外の機関投資家の投資対象になりうる規模の時価総額・流動性を持ち、より高いガバナンス水準を備えた企業向けの市場

■株式情報

株式の状況

株式数※	発行可能株式総数	40,000,000株
	発行済株式の総数	25,776,200株
	単元株式数	100株
株主数	49,713名	

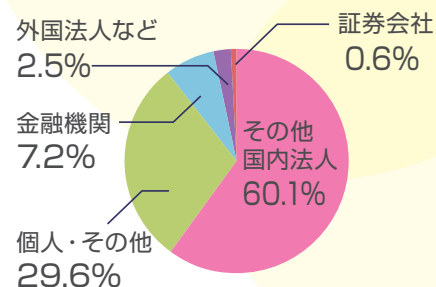
※発行済株式の総数は自己株式8,459株を除く

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率
山崎製パン株式会社	14,021,300	54.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	957,800	3.7
不二家不二栄会持株会	814,800	3.1
株式会社バンダイナムコホールディングス	500,000	1.9
株式会社りそな銀行	302,207	1.7
藤井林太郎	132,444	0.5
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	103,500	0.4
損害保険ジャパン株式会社	98,466	0.3
株式会社みずほ銀行	78,566	0.3
不二家従業員持株会	73,038	0.2

・持株比率は自己株式(8,459株)を控除して計算しております。

所有者別株式数



2021年12月31日現在

■株主優待制度

年1回の権利確定日に※株主様に対し、3月上旬に発送する「定時株主総会招集ご通知」に株主ご優待券を同封し、送付しています。

※権利確定日…毎年12月31日の最終の株主名簿に記載のある株主様



株主ご優待の基準及び内容

株主ご優待券は、当社グループ店舗(一部店舗除く)でご利用いただけます。株主様に当社商品をお試しいただき、ご意見などを承っております。

所有株式数	ご優待内容
100株から499株まで	株主ご優待券 500円券×6枚
500株から999株まで	株主ご優待券 500円券×8枚
1,000株以上	株主ご優待券 500円券×12枚

■持続可能な原材料調達のために

常により良い商品・サービスをお客様に提供し続けることを通じて、社会の発展に貢献したいと考えています。このため、次のような基本方針に沿って必要な原材料の購買活動を行っています。

〈購買基本方針〉

- (1) 私たちは公正で透明な取引を常に心がけ社会の発展に寄与します。
- (2) 企業活動に関わる全ての法令を遵守し、業務遂行に努めます。
- (3) お客様から満足していただける「安全と安心」への取り組みを行い、良質な原材料の安定提供に努めます。
- (4) お取引先に対しては、いかなる時も、誠実で公平な対応を心がけ、公正で自由な競争取引を推進し、品質・コスト・技術力などの総合評価を行い、お取引先を選定します。
- (5) 改善意欲を強く持ち、積極的に行動し日々の業務を遂行します。
- (6) 地球環境に配慮した購買活動に努めます。

WCF(世界カカオ財団)に加盟

不二家で使用しているチョコレートの原料「カカオ豆」は、不二家にとって必要不可欠な原料です。しかし、このカカオ豆の生産地では、森林破壊、児童労働、栽培技術の不足など、多くの問題を抱えています。

そこで不二家は、カカオ栽培農家への技術指導や教育支援活動、過酷な児童労働のない社会の実現に向けた各種プログラムを推進している活動に賛同し、WCF※(World Cocoa Foundation:世界カカオ財団)に加盟しています。また、サステナブルカカオの購入を開始し、今後、持続可能な原料調達を推進しています。

※カカオ生産国において、持続可能なカカオ経済を促進し、経済的・社会的発展や環境保護を実現していくことを目的とした組織。



▲WCF

World Cocoa Foundation



▲カカオ(ガーナ産)

RSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)に加盟

パーム油はお菓子やケーキに使用される油のひとつで、欠かせない原料であり、不二家でも数多くの商品に使用しています。しかし、このパーム油生産の傍らでは、急速なアブラヤシ農園の拡大や、不適切な農園経営といった諸問題が生じています。これらの問題は、森林の伐採、生物多様性の減少、土壌侵食・汚染などを引き起こし、環境そのもの及び森林に依存する人々の生活を脅かす原因となっています。

そこで不二家は、持続可能な原料調達を目指す取り組みとして、RSPO※(Roundtable on Sustainable Palm Oil:持続可能なパーム油のための円卓会議)に加盟しています。

※パーム油生産企業、メーカー、小売、環境団体などにより設立された非営利の会員組織で、持続可能なパーム油の生産と利用を促進することを目的とした組織。

■安全・安心な原料調達・産地や取引先工場への訪問

品質確認・現地監査

不二家では、安全・安心な原料の確保のために、産地へ出向き、現地現認に努めています。産地や取引先の工場へ訪問し、作柄や原料の管理状況、品質を確認することで、より品質の高いものを確保することに努めています。



▲新甘泉

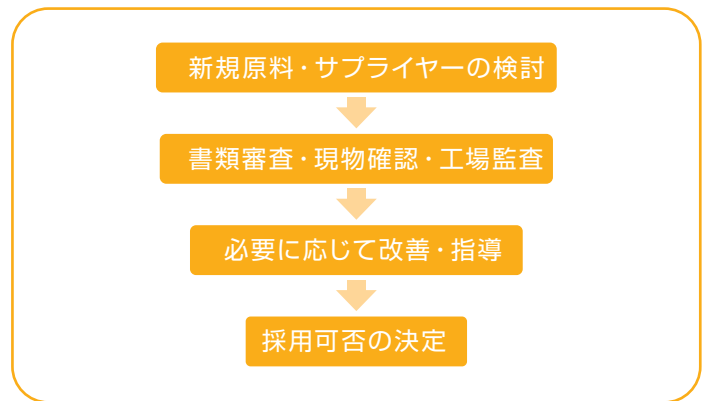


▲紅はるか

新規原料・取引先の開拓・選定フロー

安全・安心な原料調達を行うために、多くのプロセスを経て新たな原料・サプライヤーを採用しています。

新規原料・サプライヤーを検討する際には、使用に適した原料か、取引先はどのような会社かを見極めるために、まず書類審査を行い情報収集します。次に、「現場・現物・現実」の三現主義にもとづき、実際に現地や工場に足を運び、現物や生産環境に問題はないかを確認します。最後に、生産者とのコミュニケーションを通じて、必要に応じ改善依頼を行い採用の可否を決定しています。



■原材料の安定供給のために

サプライヤー BCP 調査、複数購買・地域分散型購買の推進

近年では、台風や地震などの災害リスクが高まっており、その他にも、システム障害、感染症の蔓延、地政学リスクなど、現代では事業継続においてさまざまなリスクが考えられます。

不二家では、お取引先様が万が一危機的状況下になられた場合でも、重要な業務が継続できるように対策されているか BCP 調査を行うことで、安定的な原材料調達が可能となるように、ISO22000の規定に沿って対策を行っています。

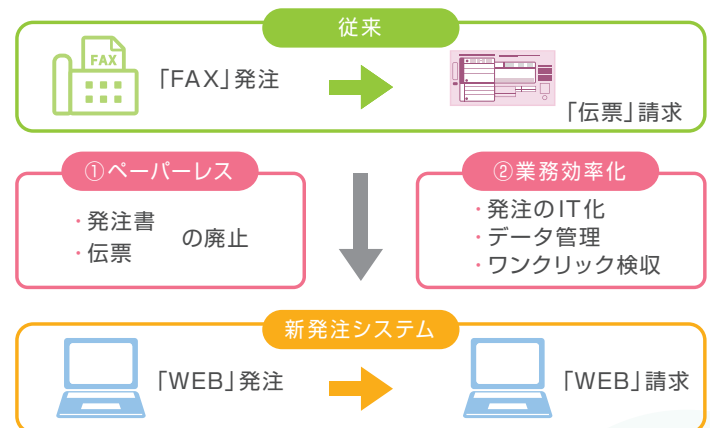
また、仕入れ先を1つに絞らない複数購買・地域分散型購買を推進し、生産部への安定した原材料の供給を実現しています。

クラウド型電子発注システムの導入

不二家は200社を超えるお取引先様より原材料を購入しています。日々安定的に原材料を調達するため、お取引先様との業務効率化を図り、クラウド型発注システムを導入しています。

従来のFAXを利用した発注や伝票での請求から、WEBで発注から請求、検収まで行える運用へと変えることで、双方のメリットが生まれています。新しいシステムでは、お取引先様は外部クラウドサービスを活用することで、テレワークなどの環境でもスムーズに受注いただける仕組みとなっています。

不二家では、ワンクリックで検収し自動で決済システムへ連携することで、伝票を自社システムへ入力時のミス防止や省力化が実現され、互いに効率よく業務が進められるようになりました。また、双方でペーパーレス、印鑑レスの受発注が可能のため、生産性が向上し、年間でA4用紙約30万枚分の削減を達成しています。



苺の安定供給

洋菓子部門年間売上第1位の「プレミアムショートケーキ(国産苺)」をはじめ、不二家では数多くのケーキに苺が使用され、品種や産地も多岐に渡ります。

菓子事業部においても、こだわりの苺を加工し、独自の技術でお菓子に配合することで、バラエティ豊かな商品作りを行っています。

また、これらの商品を製造するためには、大量の苺の確保が必要です。大量の苺を調達するためには、お取引先様との関係構築が不可欠です。そのため、日本各地の産地を毎年訪問し、卸売業者の方々や農家の方々と情報交換やコミュニケーションを図り、連携して安定供給に努めています。

各工程でのお取引先様からのご協力は、不二家のおいしいケーキやお菓子作りの大切な要素になっています。



▲プレミアムショートケーキ(国産苺)



▲クリスマス苺のスペシャルショートケーキ



▲ルック(4種のいちご)



▲カントリーマアム(あまおう苺シャンティ)

夏苺

苺は冬に多く収穫されるため、季節がら夏に採れる苺は少なく、国産苺の安定供給は容易ではありません。1年を通しておいしい国産苺を使用したケーキをお客様にお届けできるよう、栃木県日光地区の苺を供給いただいています。また、震災からの再建を進める福島県大熊町からも、最先端の設備を取り入れた安全・安心な苺を供給いただいています。



▲日光地区の苺



▲大熊町の苺



▲あまおう苺(八女農協)

冬苺

クリスマスの時期は、不二家の生鮮苺の使用量が最も多くなる時期です。中でも1番人気の品種、あまおう苺を福岡県から安定供給いただいています。

■こだわりを持った原料の手配

不二家はこだわりを持った原料、厳選素材の手配にも注力しています。国内産の産地や品種に特化した原料を使用し、安全・安心をお客様へ提供すると同時に、地方再生にも貢献しています。また、このような厳選素材を使用することで、生産者の方々の想いを商品に乗せ、より一層価値の高い商品を作り出しています。



▲岡山県産マスカット・オブ・アレキサンドリアを使用したシュークリーム



▲茨城県産紅天使を使用したモンブラン

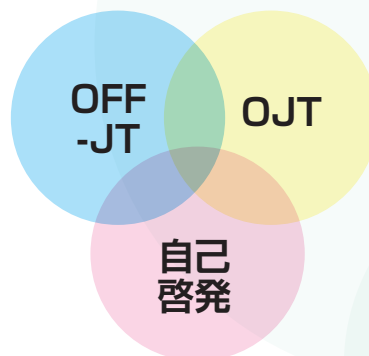
■人材育成・人材活用

人材育成に大きく関わる不二家の人事制度の最重要ポイントは、「やりがいのある仕事に携わり、夢を実現させていくための仕組みづくり」です。働く中で「幸せ」を感じるからこそ、商品・サービスを通じてお客様に「幸せ」を提供することへの近道だと考えています。

また、入社後3年間および階層別に研修を実施することで、早期に活躍できる社員を育成するとともに、求められる役割や責任を理解することでより活性化した組織の醸成を進めています。

不二家 人材育成の柱

1. OFF-JT (OFF the Job Training)
: 集合研修
2. OJT (On the Job Training)
: 職場での実務
3. 自己啓発: 通信教育等



考課面接

半年に一度、上司の評価を適切に伝え部下に対する指導を行う「育成面接」と、来期の目標を設定しその目標をどのように達成するかを話し合う「目標面接」を実施しています。面接を通じ、公正で透明性の高い評価制度の運用を行うとともに、会社方針を個々人に浸透させ、上司と部下の役割と責任を認識し合うことで、結束力の強い組織を構築しています。

通信教育

個々人の自己啓発を促し、自律した人材の育成を進めるために、年2回の受講期間を設けています。また、受講促進に向け、費用を補助する制度があります。

新任管理職に向けては、1年間マネジメントに必要な知識・スキルを学ぶeラーニングの受講を義務付けることで幅広い知識の習得を図っています。



▲通信教育の冊子

公募制度

事業部門が社内人材を募集した際に、個人が自由意思で応募し、選考のうえ職場異動する制度です。自己のキャリアアップに繋がりたい、新しい業務にチャレンジしたいといった意欲の高い人材の適正な配置と組織の活性化、社員のモチベーションアップを図ることを目的としています。

ジョブローテーション

人材育成の観点から異動を実施し、複数の職場を経験することで、職務遂行能力の向上と広い視野の獲得を目的に実施しています。

■集合研修

新入社員研修

就業規則や人事制度、福利厚生などの規則・制度に加え、マナー研修やコンプライアンス教育など幅広い研修を実施し、一人ひとりが不二家の社員としてのみならず、社会人として自立し適切な行動が行えるよう教育を行っています。

フォローアップ研修

入社3年間で、必要とされる能力を段階的及び体系的に身につけ、『組織貢献できる中堅社員』になることを目指し、入社年ごとに自己理解、他者と関わる自分、組織の中の自分といった成長のイメージを掲げ実施しています。



▲フォローアップ研修

OJTリーダー研修

指導・助言方法、職場全体での育成などをテーマに教育を実施しています。業務を通じて新入社員を指導・育成することにより、新入社員・OJTリーダー相互の成長を目的としています。

ランクアップ研修

中堅社員やリーダーといった階層ごとに求められる役割を果たす力を身に付けることを目的に、昇格時に研修を実施しています。仕事をリードする、人をリードするために必要とされる能力について、グループワークやロールプレイなどを通して実践的に学ぶ研修となっています。



新任管理職研修

管理職としての役割と責任に加え、人事考課制度の仕組みを改めて理解するとともに、人材育成の重要性を学び、面接の手法を習得することを目的に実施しています。加えて、管理職に必要な知識としてハラスメントやメンタルヘルス対策、労働法などについての教育も実施しています。

■福利厚生

カフェテリアプラン

カフェテリアプランとは、健康維持や自己啓発に関する13個のメニューの中から、合計で年間15,000円まで費用支援を受けられる制度です。資格取得のための受験・受講費用、各種検診費用やスポーツ活動支援といった健康維持・増進関連、旅行の宿泊費や遊園地の入園料などの余暇支援等、幅広いメニューを用意しています。

健康保険組合との連携

不二家健康保険組合と連携し、適度な運動や食生活改善などを目的に、「健康ポイントプログラム」の実施、スポーツ施設と契約して健康づくりの場の提供を行っています。また、当健康保険組合の保健事業として、人間ドック、脳ドック、各種がん検診の補助を実施することにより、疾病の早期発見、治療のサポートを行っています。ほかにも、生活習慣病の対策として、40歳以上(特定保健指導対象者以外)で血糖値が基準値以上かつ医療機関未受診の方へ、受診勧奨を行っています。

併せて、本人だけでなく扶養家族を含めて1名4,000円までのインフルエンザ予防接種の費用補助を行っています。一定規模の事業所では、産業医や産業医が所属する医療施設と連携し、従業員本人の接種機会を設けています。

■ダイバーシティ

女性管理職

女性活躍推進には、管理職と一般社員の意識改革、女性リーダーの早期育成、育児休業からの復帰支援、男性社員の育児参画促進などに関する施策を実施しています。

女性管理職については、2021年12月15日現在、23人(9.9%)となっており、2024年の目標として15%を掲げています。

中途採用

2021年は18人の中途採用を行いました。さまざまな経験をしている中途採用者には、私たちになかった価値観を持ち込んでもらい、それぞれの強みを活かした活躍を期待しています。

また、中途採用者管理職については、2021年12月現在24人(10.3%)となっています。

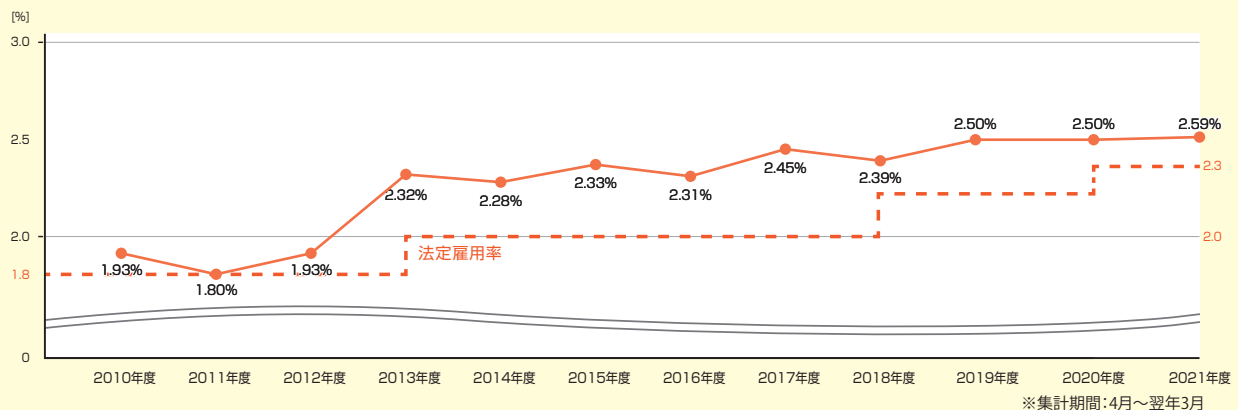
労働施策総合推進法に基づく中途採用比率

年度	中途採用比率
2019年	17.8%
2020年	22.7%
2021年	26.1%

障がい者雇用

不二家は、障がい者雇用に取り組んでおり、法定雇用率を上回る障がい者雇用数・雇用率を維持しています。2021年3月からは法定雇用率が2.3%となっていますが、2021年度における不二家の障がい者雇用率は2.59%、雇用者数は71人となっています。

障がい者雇用率表



育児と介護

育児や介護を行う従業員が仕事と家庭を両立できるよう、育児・介護を支援する制度を設けています。2021年度の育児休業者は50名(うちパートナー社員17名)、短時間勤務制度利用者は41名でした。また、男性の育児休暇取得者は15名でした。時差勤務制度も導入しており、今後も制度利用を促進するためにさまざまな施策を講じていきます。

人権

2021年12月の人権週間に合わせ、人権標語の募集とアンコンシャス・バイアスに関する情報発信を行いました。人権啓発イベント「不二家 人権ひろば」は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、2020年に続きイベントの開催は見送りましたが、新入社員への人権研修、新任管理職への人権・ハラスメント防止研修を実施しました。引き続き一人ひとりが人権について理解を深めるサポートを行い、多様な人材が活躍できる組織作りを目指していきます。

高齢者雇用

法的、社会的要請の観点からのみならず、社員にとって魅力的でかつ働きがいがある会社であるために、定年退職までの豊富な経験と技術を持っている社員の再雇用を行っています。満60歳に達する社員の再雇用希望の有無や本人の勤務形態、勤務地などの労働条件の希望も考慮のうえ、本人が有するスキルに合致すると会社が判断した職務を提示し、合意の場合に継続雇用する「再雇用制度」(60歳定年後)を導入しています。2021年12月15日現在で69名が再雇用者として在籍しています。

■ワークスタイル

新型コロナウイルス感染症への対策

不二家では、働き方改革の一環としてコロナ以前よりさまざまな取り組みが始まっていましたが、2020年4月に発出された緊急事態宣言以降、さらに大きく変わりました。入室前の検温とアルコール消毒の徹底やソーシャルディスタンスの確保、3密を避けるために全体朝礼や会議はオンライン中心になり、本社ではフリーアドレス化や在宅勤務、時差勤務の活用も進みました。出社率の削減にも取り組んでいます。各事業部におきましても、職場に適した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策を実施しています。



▲入室前の検温とアルコール消毒



▲フリーアドレス化した
本社5階フロアの様子



▲オンラインでの打ち合わせの様子

在宅勤務

2020年より試行的に実施していた在宅勤務を制度として導入し、在宅勤務が可能な従業員には積極的な活用を推奨しています。在宅勤務の活用を促進することで、多様な働き方を可能とし、ワークライフバランスの向上に取り組んでいます。

■労使協力関係

管理職及び経営に関わる部署の人員を除く全正社員が「不二家労働組合」に加入しています。労使間では、健全な企業経営と企業の持続的な発展を目指し、「労使協議会」「経営協議会」を開催しています。経営側と組合側が諸問題について忌憚のない意見交換を行うことで、経営上の課題解決や人事労務関係の諸施策導入など、スピーディな対応を図っています。2021年度はコロナ禍における従業員の安全確保と新しい働き方などについて情報交換や意見交換を行い、働き方改革にも取り組みました。

■健康経営

従業員の健康は、会社を成長させることにもつながり、当社にとって大切な財産です。不二家では、経営トップによる健康経営宣言のもと、従業員の健康保持増進に取り組んでいます。

健康経営宣言

不二家の経営理念「常により良い商品と最善のサービス(ベストクオリティ・ベストサービス)を通じて、お客様ご家族に、おいしさ、楽しさ、満足を提供する」を果たしていくためには、従業員が個々に持っている能力を十分に発揮することが必要不可欠です。そして、そのためには、従業員が健康でいきいきと働くことが重要です。

不二家は、不二家労働組合、不二家健康保険組合と一体となって、従業員の健康と安全を組織で支える健康経営を推進し、健康の保持増進に取り組めます。

株式会社 不二家
代表取締役社長 河村 宣行

健康経営推進体制

健康経営推進責任者

代表取締役社長

健康経営推進事務局

人事部

健康保険組合

労働安全衛生管理体制

不二家は、「お客様に安全な商品をお届けするためには、従業員の安全と健康に配慮し、全従業員が安心して働くことのできる職場環境づくりが不可欠である」との経営トップの強い意志のもと、労働災害ゼロを目指し、労働災害防止に向けた施策を実施しています。

全社的な労働安全衛生方針の策定や安全対策の検討、情報共有などを行う「中央労働安全衛生委員会」を本社に組織し、全国の工場、営業所・支店、直営店舗（エリア毎）には「中央労働安全衛生委員会」の下部組織として「労働安全衛生委員会」を組織しています。「労働安全衛生委員会」では、全社方針にもとづき、それぞれの事業所の実態に即した安全衛生活動を検討し、実施しています。

不二家労働安全衛生基本理念

「常に活力ある企業であるために、
社員の安全と健康の確保を第一とし、
働きやすく、快適な職場づくりを行います。」

- ①各事業所、本社各部が一体となり、安全教育・設備改善を確実に実施し、働きやすい職場づくりを推進する。
- ②長時間労働による健康障害防止を実施するとともに、職制を通じた健康管理、従業員の健康意識向上に繋がる施策を推進し、従業員の健康を守る。
- ③交通法規の遵守と安全運転・防衛運転を徹底し、交通事故・通勤災害の撲滅を図る。

2021年スローガン

『愛』を行動に！進めよう「快適安全な職場づくり」

設備改善、新規設備導入

機械設備の本質安全化に向け、新規設備導入時のリスクアセスメントを実施してリスク低減策を講じることや、毎月実施している安全パトロールで発見した不安全箇所の改善など、製造現場を中心に設備改善を積極的に推進しています。併せて、重量物の運搬など作業負荷の大きい仕事について、負担軽減に向けた設備を導入することで、従業員が安心して働ける働きやすい職場環境づくりに努めています。

安全衛生巡回

毎年、社内の労働安全衛生顧問と中央労働安全衛生委員による全国の工場巡回を実施しています。日頃から工場で勤務する従業員の意見を吸い上げ、機械設備の安全化を進めていますが、工場巡回で第三者の視点から現場をチェックすることで、普段勤務していると気づきにくい危険箇所を抽出、本質安全化を検討し、計画的な改善につなげています。尚、この工場巡回は、不二家グループ全体の労働安全衛生管理水準の向上のため、全9工場と関係会社（ダロワイヨ、不二家神戸、不二家飲料果実、不二家乳業）で実施しています。



▲工場の安全巡回

安全教育・啓蒙

機械の本質安全化を進めるとともに、従業員自身が安全第一で仕事をするよう、危険への感受性を高めるための安全教育、情報発信を行っています。安全に対する意識レベルを把握するために従業員の安全意識に関するアンケートを実施してその結果を分析し、意識レベルに合わせた安全教育を実施しています。また、製造現場には外国籍の従業員も勤務しているため、安全衛生教育に使用している「安全衛生ハンドブック」の外国語版（英語版、中国語版）を作成し、教育に役立てています。その他、安全作業手順を整備し、繰り返し教育を行うなど、ルールを守ることの重要性を伝え、安全第一の職場づくりを行っています。



▲工場での安全教育

交通安全講習会

安全・安心な職場作りを目指し、交通安全教育を実施しています。2021年11月、年末繁忙期を迎えるにあたり、洋菓子事業本部・菓子事業本部の外勤者を対象に、警視庁大塚警察署の交通課長をお迎えして講習会を行いました。交通ルールの順守と正しい交通マナーを再確認するとともに、各自が無事故、無違反を継続し、安全に対する意識を持ち続け実践することを目的に、WEB中継も活用しながら160名が参加しました。当日参加できなかった方へは動画配信を行い、対象者全員に実施しました。



▲交通安全講習会の様子

メンタルヘルス

自分自身の状態を把握して対処することや周囲の働きかけなどでメンタルヘルス不調の予防や早期発見が可能になるとの考えから、新たに管理職となった社員への研修や新入社員研修にて、メンタルヘルスに関する考え方などの講義を実施しています。また、毎年実施しているストレスチェックの集団分析を活用し、職場環境改善に向けたフィードバックを行っています。各職場にて、実態に合わせた取り組みを行うことで、従業員一人ひとりがいきいきと働ける職場づくりを目指しています。

時間外労働の削減への取り組み

業務効率向上に向け、各種施策に取り組むのと同時に、さまざまな視点から時間外労働の削減に向けて取り組んでいます。必要以上に従業員の負担増加とならないよう、各職場にて現状を分析し、特定の個人に負担を集中させないための多能工育成や省人設備の導入、業務の洗い出しによる不要な業務の削減、作業の効率化などを行なっています。

また、直営店舗においては、シフト管理を本部にて一元管理し適正な人員配置を行っています。店舗ごとに効率的な運営を図ることで、労働時間の削減にも取り組んでいます。

■防災への取り組み

不二家では、全従業員を対象に、全事業所で避難訓練などの自衛消防訓練を実施しています。また、各事業所では定期的に防火防災の自主点検や、震災などを想定した帰宅困難者対策を行っています。

防火防災点検には、避難経路の確保、燃焼設備周辺の可燃物がないかのチェック、従業員教育、防災備品の点検があり、具体的には、避難経路上にある防火シャッターの位置確認や消火設備の実地確認(実際に消火栓のホースを伸ばし火災が想定されるところまで届くか)などを行いました。

帰宅困難者対策では、毛布等の防災備品の見直しや入替え、購入等を行う等の対策をしています。

2020年からは、安否確認システムを全事業所に導入しており、災害時に迅速に従業員の安否を確認できるよう定期的な訓練にも取り組んでいます。



▲消火栓のホースの点検

社内情報の共有

部署を越えて横断的に集めた社内若手メンバーを中心に小委員会を運営し、2種類の社内報を発行しています。

週刊社内報「WEEKLY Sweeeet !!(ウィークリースウィート!!)」

毎週金曜日に発行している週刊社内報「WEEKLY Sweeeet!!(ウィークリースウィート!!)」は、社内イントラネットに掲載。社内情報のいち早い共有を目的に、各事業部や、工場、本社部門に加え、不二家グループ各社の情報を毎週発信しています。新商品や新店舗、工場やエリアごとの取り組みやイベントなど、さまざまな情報を紹介しています。



▲「WEEKLY Sweeeet !!」

社内報「Sweeeet !!(スウィート!!)」

年3回発行している冊子の社内報「Sweeeet!!(スウィート!!)」は、「今の不二家をみる！明日の不二家を考える!!」をテーマに、経営層からの情報発信をはじめ、日常業務で役立つ企画や、新商品情報、従業員の趣味や意外な一面を紹介するコーナーなどバラエティに富んだコンテンツを掲載し、従業員間のコミュニケーションツールとしても活躍しています。



▲「Sweeeet!!」



▲社内報編集ミーティングの様子

担当者の声



経営企画室
広報IR部 広報室
M.T

41号から社内報編集員に加わりました。社内報は広報室を中心に、工場や各事業部さまざまな部署から選ばれた若手社員と協力し、ページの企画、取材、編集を行い作成しています。作成過程では、通常業務では接する機会のない社員と連携をとることが多くあり、情報を得るだけでなく、他部署とのコミュニケーション・関係性構築にも繋がっています。

さまざまな部署の情報をなるべく多く、楽しく伝えるために、毎週金曜日に電子媒体の「WEEKLY Sweeeet!!」、年間3回紙媒体の社内報「Sweeeet!!」を発行しています。より多くの社員に登場してもらい生の声を届けることや、他部署の取り組みを紹介することで、社内コミュニケーションのキッカケになることを意識して制作しています。



不二家は、省資源、省エネルギー、CO₂排出量削減などの環境保全問題への取り組みを通して、より良い商品とサービスをお客様に提供するよう努めています。ISO14001にもとづく活動の中で、環境意識向上にも取り組んでいます。

■環境方針

不二家は「環境基本理念」「環境基本方針」にもとづいて、従業員一人ひとりが当社の果たすべき責任と役割を認識し、低炭素社会、循環型社会の実現に寄与する「地球にやさしい企業」を目指しています。また、積極的に地球環境、生態系への負荷を低減し、気候変動リスクを常に意識しながら生物多様性の保全と資源の有効活用に向けた取り組みを継続的に推進することにより、持続可能な社会に貢献していきます。

〈環境基本理念〉

- この恵み豊かな地球環境を守り、健全且つ安全で自然環境を含む生態系が保全されることが人類共通の重要課題であると認識いたします。
- 株式会社不二家は「食」を通じて、人々の健全と安全を守るとともに、豊かさ、そして安らぎを育み、生活文化創造に貢献してまいります。
- 今後は、さらに事業活動のあらゆる側面で地球環境への負荷を最小限とするよう努力し、「環境との調和」を図るよう努めて、人と自然との共生を図り、「地球環境にやさしい企業」を目指して行動してまいります。

〈環境基本方針〉

- (1) 事業活動、商品、業態、サービスなどがかわる著しい環境側面を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、技術的、経済的に可能な範囲で、環境目的、目標を定めて、環境保全活動の継続的な向上、改善を図ります。
- (2) 環境関連の法律、規制、協定などの厳守はもとより社会要請に応えうる環境管理体制の整備と充実を図ります。
- (3) 事業活動における省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルおよび環境汚染物質排出量の削減に取り組みます。
- (4) 地球における緑化、環境美化活動、環境保全への支援、活動に取り組みます。
- (5) 全従業員に対して環境教育や啓蒙活動を積極的に行い、環境保全に関する意識向上を図ります。

■環境目標(CO₂排出量削減目標・食品リサイクル率目標)

不二家では、CO₂排出量削減と食品廃棄物排出量削減(食品リサイクル率)の長期的な目標を設定し、低炭素社会の実現と循環型社会の形成への貢献に努めています。

CO₂排出量

46%

削減する
(2030年度末までに)
※2013年度対比

食品リサイクル率

95%

達成する
(2030年度末までに)

■マネジメント体制

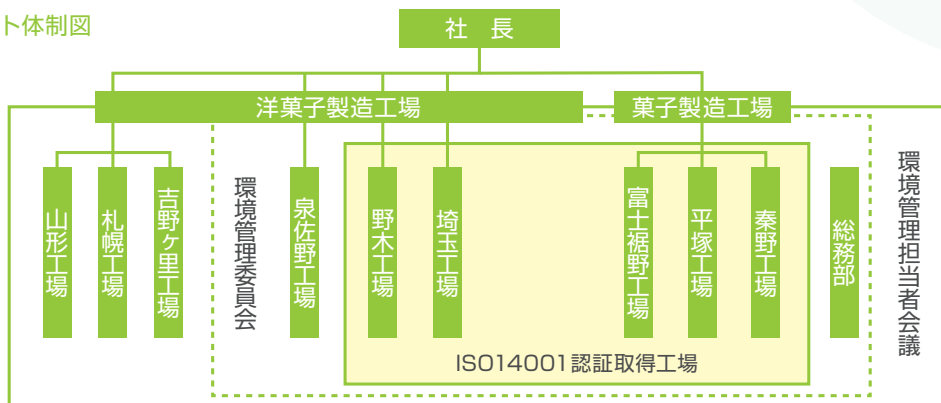
マネジメント体制図

不二家では、環境方針を軸にISO14001にもとづく環境マネジメントシステムを運用し、環境マネジメント体制と、迅速な行動・コミュニケーションの強化を図るため、各工場を社長直轄の体制としています。

また、各工場には「環境管理委員会」を設置し、省エネルギーや廃棄物削減等の目標達成の取り組みと、パフォーマンス達成状況や環境関連法規の改正、遵守状況を毎月確認し、組織的に推進することで、継続的な改善を図っています。

さらに、全工場間の環境情報や取り組みを共有する目的で、「環境管理担当者会議」を必要に応じて開催し、目標や課題への具体的解決策を検討し、改善への行動に結びつける環境マネジメントを推進しています。

環境マネジメント体制図



内部環境調査

ISO14001取得工場では、「ISO14001:2015年度版」の規格にもとづき、各工場の内部環境監査員が相互に連携して監査を行い、環境マネジメントシステムが適正に維持されていることを確認しています。内部環境監査の結果は経営層に報告され、環境マネジメントレビューの際の重要な資料となります。

環境教育・緊急事態訓練

環境マネジメントシステムの運用には、システムを運用する従業員一人ひとりの意識向上、適切な知識の取得が欠かせません。ISO14001認証取得工場では、全従業員を対象とした環境教育を実施して、環境保全に関する知識レベルの向上に努めています。

また、各事業所では災害・事故などによる環境汚染の防止及び緩和を図るため、対応の手順を定めるとともに、緊急事態を想定した訓練を定期的の実施しています。

地方公共団体への協力

地球温暖化防止のため、地域・行政への協力を積極的に行なっています。行政の定める省エネ法、食品リサイクル法等の法令に従い、各工場・事業所と連携し、石油・電力等エネルギーの使用量や廃棄物の量を管理し、毎年報告書を提出しています。2021年7月には、神奈川県地球温暖化対策推進条例にもとづき、平塚工場の調査に立ち会いました。



▲平塚工場調査の様子

Voice!

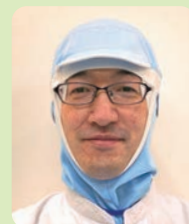
事業活動のあらゆる側面で地球環境への負荷を最小限とするよう努力し、地球環境に優しい企業を目指し、秦野工場では、2002年にISO14001認証を取得しました。定期審査を年1回、更新審査を3年に1回受けるなど、環境活動を継続的に行なっています。

2021年は、定期的に工場内外の清掃活動を行いゴミの無い工場、そしてゴミの無い町を目指し活動しました。SDGs17番目の目標にもとづき、秦野市とパートナーシップを組み、不法投棄の撤去や市内一斉美化活動にも参加しました。また、秦野市が主催する環境プログラムに参加し、近隣の小学生を対象に食品ロスやリサイクルなど、秦野工場で行っている環境活動について講話しました。

そのほかにも、不二家ファミリー文化研究所が主体となり実施する長野県黒姫にある「ペコちゃんの森」の整備活動にも、秦野工場から参加しました。

今後も地域と連携し、地球にやさしい愛される企業を目指していきます。

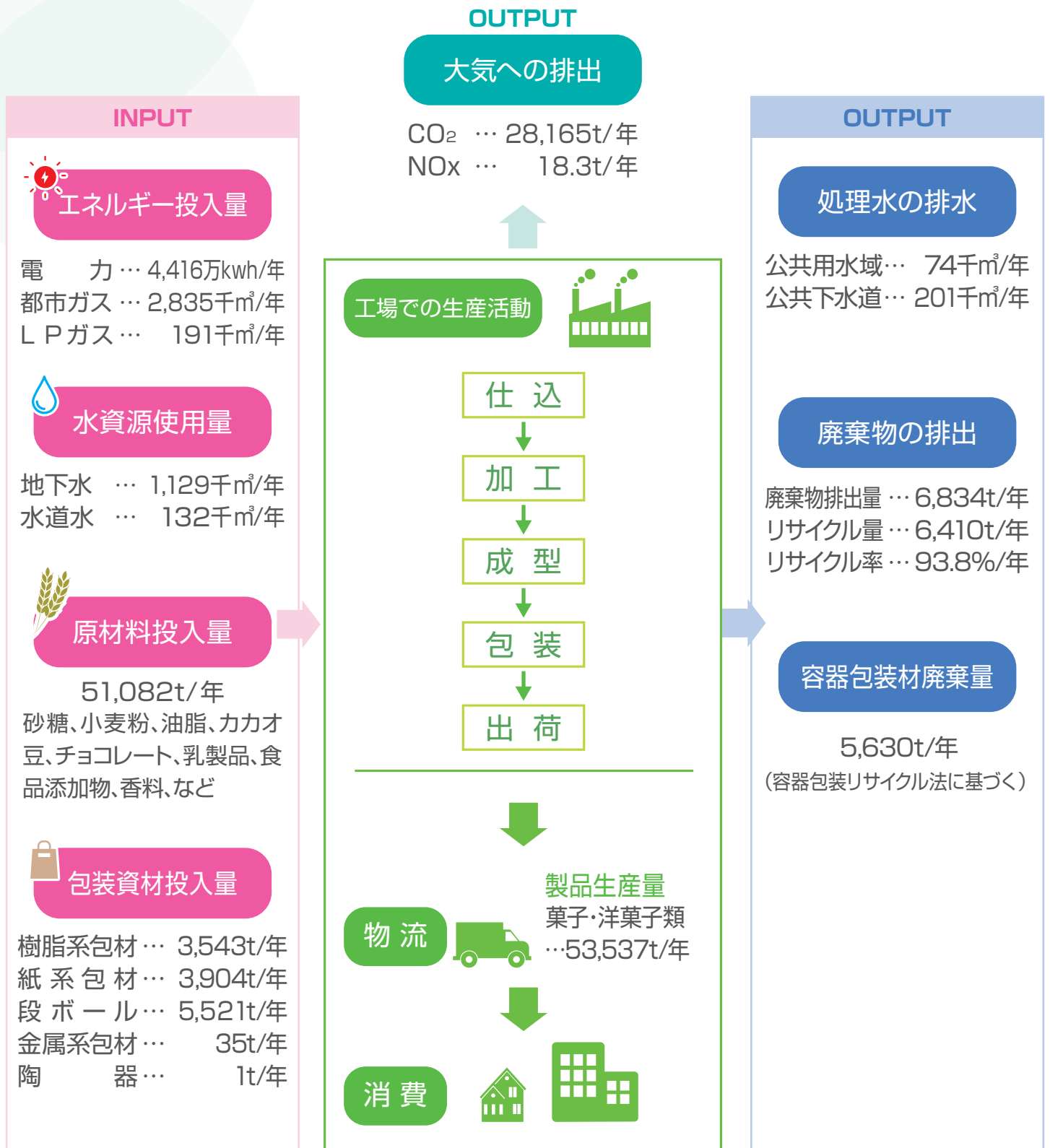
秦野工場 総務人事課 S.U



■事業活動のマテリアルバランス

不二家では、事業活動にともなって発生する環境への影響を正しく把握し、環境負荷の低減に取り組んでいます。

2021年度マテリアルバランス



※集計対象：秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、埼玉工場、野木工場

※期 間：2021年1月～2021年12月

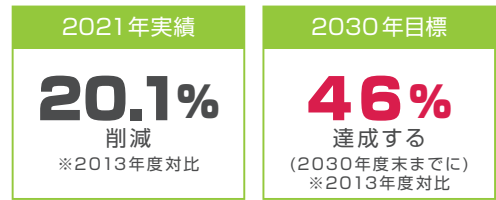
※マテリアルバランスとは、事業活動におけるエネルギー及び資源の投入量(インプット)と、その活動にともなって発生した環境負荷物質(アウトプット)を表したものです。

地球温暖化防止への取り組み

CO₂排出量削減実績と目標

不二家では、2030年までにCO₂排出量を2013年度比で46%削減することを目標に、低炭素化社会の実現に向けた取り組みを積極的に行っています。2021年度は、2013年度対比で20.1%の削減となりましたが、目標達成のために今後より一層の努力が必要です。

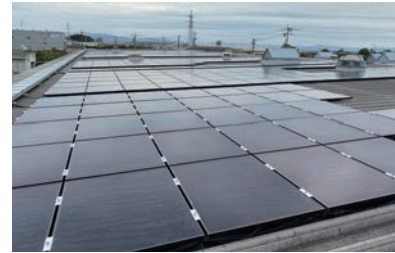
CO₂排出量削減実績と目標



太陽光パネルの設置

富士裾野工場、吉野ヶ里工場では工場の屋根上に太陽光パネルを設置し、太陽光発電を行っています。2021年は、2工場の稼働で75万kwhの電気使用量を削減し、CO₂換算では346t-CO₂を削減しました。

さらに2022年5月には、秦野工場にも太陽光パネルを設置し、電気使用量とCO₂排出量の削減を行っていきます。



▲吉野ヶ里工場 太陽光パネル

CO₂排出量削減への取り組み

不二家の各工場では、CO₂の排出量削減対策として、冷凍機、空調機などの設備を環境負荷の低い設備へ順次、更新しています。

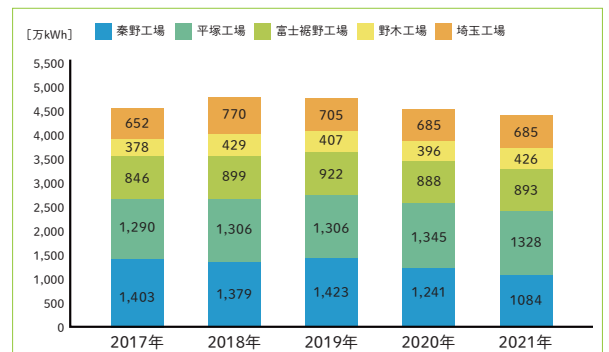
秦野工場では、空調用ストレナーの清掃性を改善することで、冷却水ポンプの負荷を低減しています。年間11万kwhの電気使用量を削減し、CO₂換算では49t-CO₂を削減しました。



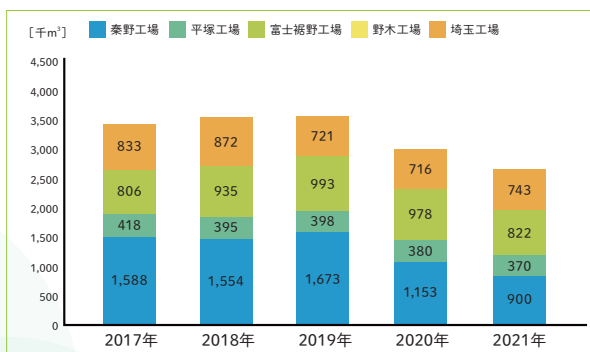
▲秦野工場 空調用冷却水ポンプと冷却水配管のストレナー

電力、都市ガス、LPガス使用量実績

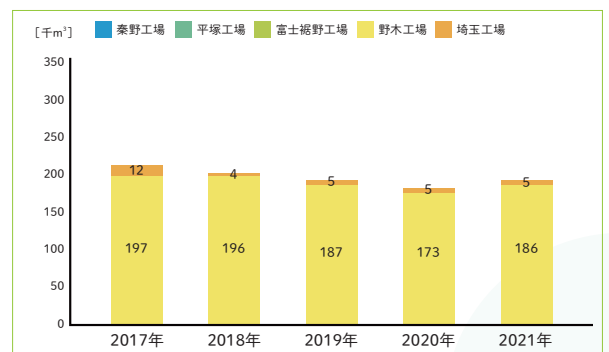
不二家は各事業所・工場において、省エネルギー設備の導入及び合理化や空調設備の運転方式の改善など省エネルギー対策に努めています。2021年度のエネルギー使用量は、2020年度と比較し電力は3.0%、都市ガスは12.1%減少し、LPガスの使用量は7.0%の増加となっています。今後も設備の整理統合や新技術の導入検討など、エネルギー使用量の削減や合理化に積極的に取り組んでいきます。



電力使用量推移



都市ガス使用量推移



LPガス使用量推移

保管・輸送時の環境負荷低減

商品の配送時には、他菓子メーカーとの共同配送を全国で実施しています。輸送車両を減らすことにより、物流コストやCO₂排出量の削減を図っています。また、北海道・九州地区の配送においては、環境に優しく大量輸送が可能な船舶や、鉄道コンテナを有効的に利用し、CO₂排出量の削減や作業効率の向上に貢献しています。



省エネルギーへの取り組み(環境への配慮)

不二家の工場や店舗では、省エネルギー設備の導入及び合理化を行い、省エネルギー対策に努めています。

洋菓子店舗

ケーキを陳列する冷蔵ショーケースや店内照明などのLED化、空調機器等の更新などを行い、電気使用量の削減に取り組んでいます。

レストラン

全店舗に節水ノズルを設置し水資源の節約に取り組んでいます。揚げ物を揚げた廃食用油は、食品リサイクル法に対応した廃食用油収集運搬業者が回収し、バイオディーゼル燃料に再生しています。

秦野工場

小型給湯器導入により都市ガス使用量を年間で約16,000m³削減しました。



▲冷蔵ショーケースのLED化



▲空調更新(数寄屋橋店)



▲小型給湯器の導入(秦野工場)

フロン使用削減の取り組み

各工場では、フロン使用設備を地球温暖化への影響が少ないタイプへ順次更新し、電力量・CO₂排出量の削減に取り組んでいます。

2021年には、埼玉工場のチョコ生ホイップマスターブラインチラー、富士裾野工場のホームパイミキサー専用冷凍機など、冷媒R22仕様の設備を省エネルギー、低フロンタイプへ更新しました。

2021年度 主なフロン使用設備更新

工場	更新設備	更新月	CO ₂ 削減量(t/年)
平塚	11号カールプラント包装室パッケージクーラー	4月	5.27
平塚	9号カールプラントクーラー冷凍機	5月	8.79
秦野	No.1マチュアリング室冷凍機	5月	28.61
秦野	5号オープン冷凍冷蔵庫 冷凍機	6月	9.84
富士裾野	包材倉庫パッケージクーラー	2月	4.45
富士裾野	ホームパイミキサー専用冷凍機冷媒R22ブラインチラー冷凍機	8月	14.68
埼玉	CS-23原料保管冷蔵庫(液卵)	8月	4.10
埼玉	チョコ生ホイップマスターブラインチラー	9月	63.6
野木	チーズ仕込原料冷蔵庫冷凍機	8月	2.50
泉佐野	物流 冷凍ユニット	8月	11.90
札幌	1階冷凍庫(A-2)冷凍機	6月	2.81



▲埼玉工場チラー設備の室外機



▲ホームパイブラインチラーユニット&タンク

■食品ロス・廃棄物削減への取り組み

不二家では、商品の設計からお客様に届くまでに発生する食品ロスや廃棄物の削減に取り組んでいます。各工場では製造過程における食品ロス削減のため、品質の安定、安定供給を目指し、生産機械の改良、更新を行なっています。包装ラインにおいても、改良や自動化を進め、包装資材の簡素化・軽量化を進めています。

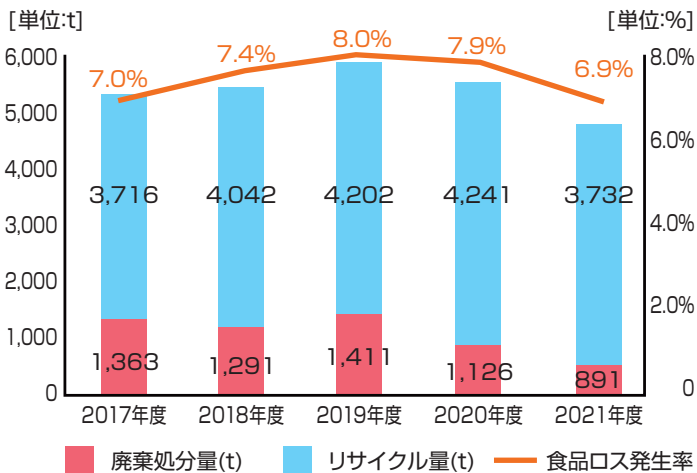
食品リサイクル率実績及び目標

各工場等の製造工程で発生した廃棄物は、飼料・肥料等の原材料化、燃料等への再生利用を行い、2030年度の食品リサイクル率95%達成を目標に、積極的に実施しています。2021年度に発生した食品ロス4,623t(前年比14%削減)の内、3,732tをリサイクルしました。

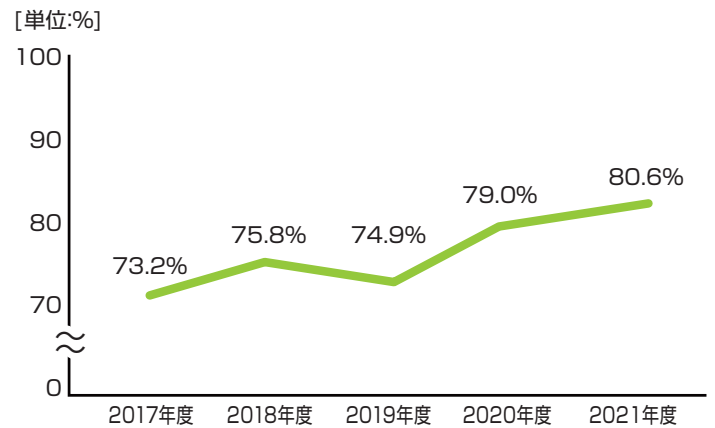
食品リサイクル率実績と目標

2021年実績	2030年目標
80.6%	95%

食品ロスにおけるリサイクル量及び廃棄処分量

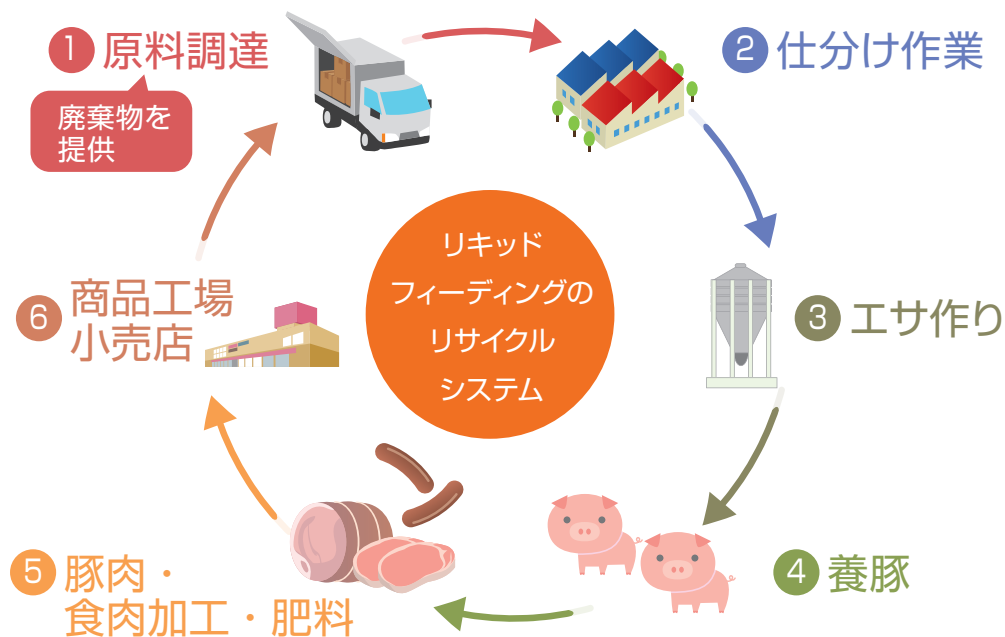


食品リサイクル率推移



食品リサイクル取り組み事例

不二家では、各工場で発生した廃棄物をブライトピックグループ様が運用するリサイクルシステム『リキッドフィーディング』に提供し飼料化することで、可能な限り食品ロス削減に努めています。2021年度は、3,308tを飼料化しました。



環境負荷低減への取り組み

製品の容器や包装については、製品をおいしく安全にお客様にお届けするための「品質の保持」の役割を維持しながらも、省資源や廃棄時の環境負荷を低減する「環境配慮」の両側面を大切に取り組みを進めています。2021年においては、包装材料の削減(サイズダウン)や環境に配慮した包装材料の使用促進に取り組みました。

紙包材の使用

「120gミルキー袋」の外装には、2020年より紙パッケージを採用しています。キャンディ個包装もこれまでと同様の包み紙を使用し、脱プラスチックを表現しています。



プラスチック包材の削減

各個包装・外包装のサイズや厚みを見直すことによって、プラスチック包材の削減に取り組んでいます。

薄肉化実績

- ・「アンパンマンペロペロチョコ」(トレー) 約22%削減
- ・「カントリーマアムチョコまみれミドルパック」(外装) 約17%削減
- ・「8枚カントリーマアム」(トレー) 約15%削減



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

バイオマスインキの使用

外装に植物由来のバイオマスインキの使用を拡大しています。

使用実績例



洋菓子店舗での取り組み

洋菓子店舗やレストランの資材でも環境に配慮した素材を使用しています。

ポリ袋

- ・バイオマスプラスチックを含んだ袋を使用



紙袋

- ・環境に優しい水性インキと植物由来のバイオマスインキを使用



カトラリー

- ・バイオマスプラスチックを使用したスプーンとフォークの使用



FSC® 認証紙の実績

紙製容器にはFSC®※₁認証紙※₂への切り替えを推進し、使用を拡大しています。

※₁ FSC®(Forest Stewardship Council®、森林管理協議会)責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする、独立した非営利団体であり、国際的な森林認証制度を運営している組織。

※₂ 森林の管理や伐採が、環境や生態系、地域社会に配慮して適切に行われているかなどの、評価・認証を受けた原材料を使用した紙のことです。

使用実績例



ハートのご褒美ルック
(ピスタチオ)



ルック一粒の贅匠
(焼き林檎)



ホロル
(ショートブレッド)



持ち帰り用
ケーキBOX



保管・輸送時の環境負荷低減

各商品の段ボールケースを薄肉化し、寸法は小さくするだけでなく、より多くの商品を積載できるように、無駄なスペースができないように工夫し、保管・輸送に関わるエネルギー使用の抑止に努めています。



各事業所における環境保全活動

河川美化活動への参加

2021年10月、大柄沢川の環境美化と水質保全の啓発活動の一環として、狩野川水系水質保全協議会裾野長泉支部が主催となり行った、アマゴの放流に富士裾野工場が参加しました。そのほかにも、裾野市内にある児童施設の子どもたちや同支部の会員企業が参加し、300匹のアマゴを放流しました。



▲河川美化活動

工場構内外の整備活動

各工場では、工場内の緑地面積の維持・向上や環境保全に関する活動を行なっています。また、工場内のみならず、工場が立地している自治体などと協力し、工場外の環境保全活動にも積極的に取り組んでいます。

秦野工場では、秦野市が実施する「秦野地区不法投棄防止キャンペーン事業」や「秦野市内一斉美化清掃」などの清掃活動に参加しました。

はだのエコスクール

秦野市環境共生課が主催する「はだのエコスクール」の環境プログラムに参加し、秦野工場で行っている環境活動について秦野市内の小学校で講話しました。



▲秦野工場の整備活動の様子



▲秦野市内一斉美化
清掃参加の様子



▲はだのエコスクールの様子



■不二家ファミリー文化研究所の活動

黒姫「ペコちゃんの森」

不二家ファミリー文化研究所は、自然環境保護活動の一環として、長野県黒姫にある荒廃した森を購入し、その森を整備保護していただける団体にトラスト活動として寄贈しました。また寄贈先※のご理解を得て、その森を「ペコちゃんの森」と命名し、継続的に整備活動への支援・参加をしています。

この2,000坪強の小さな森は、熊笹や灌木の覆い茂った藪そのものでしたが、数年の手入れを経て徐々に明るさを取り戻し、2012年にブナやミズナラを植樹しました。今後も定期的に不要な下草を伐採して地面に日光を導き、ブナやミズナラをはじめとする木や草が生い茂る明るい森を作っていくのが目標です。

自然に手を加えることによって、森にどのような変化が生じるのかを観察するのも、森作りの仕事のひとつです。私たちは、徐々に変化している「ペコちゃんの森」の様子を、定期的にウェブサイト内にてご報告しています。この森を通して、自然の力と人間の営みについて学びながら、森林の再生と保護、環境教育活動を継続して行っています。

※寄贈先は、環境保護団体「CCC自然・文化創造会議/工場（議長 倉本 聡氏）」です。

従業員による「ペコちゃんの森」整備活動

不二家ファミリー文化研究所では、CCC自然・文化創造会議/工場様のご協力のもと、本社や支店・工場など、さまざまな部署の社員が有志で参加し、「ペコちゃんの森」の森林整備を行っています。2020年度は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大防止の観点から活動を休止しましたが、2021年度は7月に感染症対策を万全にし、少人数にて実施しました。



▲整備後のすっきりとした森と参加者



▲鳥の巣を発見

Voice!

入社3年目に初めて参加して以来「ペコちゃんの森」の整備活動に定期的に参加しています。この活動は、ブナやドングリを始めとする木や草が生い茂る明るい森を目標に、環境保護団体ご協力のもと森林の再生と保護に向けた整備活動を行っています。また、森林整備活動は、部署・年齢問わずさまざまな部署からの有志者が参加しており、良きコミュニケーションの場にもなっています。それに加えて、環境教育を「ペコちゃんの森」で実際に体験しながら実施することで、環境に対する知識向上にも取り組んでいます。昨今は、感染防止の観点から大々的な活動ができていませんが、今後も次世代に残していきたい、伝えていきたい自然を育む活動に積極的に参加していきます。



経営企画室 eコマースプロジェクト H.T

経営マネジメント

不二家は、コーポレート・ガバナンスの強化・充実を経営の重要課題の一つとして位置づけ取り組んでいます。「社是」および「経営理念」にもとづき、不断の努力により新しい価値と需要を創造するとともに、徹底した改善に絶え間なく取り組み、収益を確保することで、当社の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を目指しています。

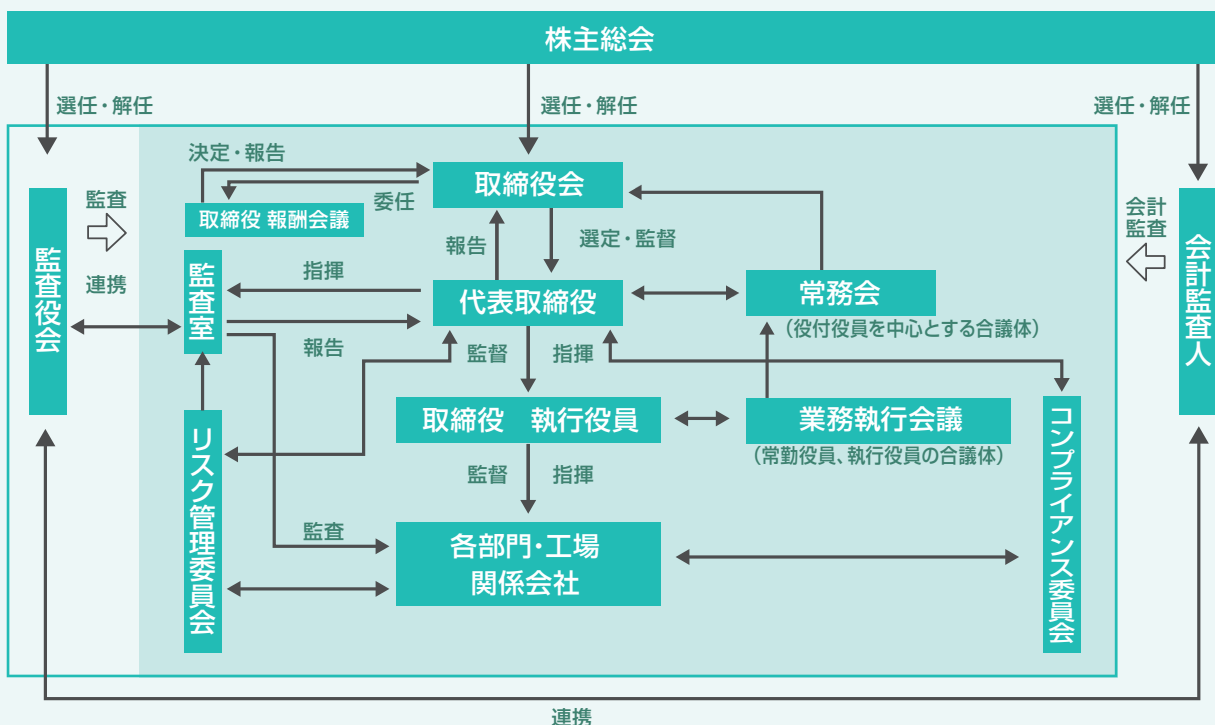
■コーポレート・ガバナンスと内部統制

コーポレート・ガバナンス

企業価値向上を目指すためには、株主をはじめとするすべてのステークホルダーとの健全な協働関係を構築することが不可欠であると考え、企業経営の透明性と効率性の向上を図るとともに、コンプライアンス及びリスク管理の強化を推し進め、コーポレート・ガバナンスのさらなる充実・強化に取り組んでおります。

取締役会が、代表取締役をはじめとした取締役、執行役員及びその他主要な職位にある者を指揮、監督し、それら全体を監査役が監督する体制を備えております。さらに、社外取締役は客観的かつ中立的な観点からの確な助言と意思決定を当社の経営に反映させているとともに、社外監査役も専門的見地から公正かつ客観的に経営の妥当性を監督し、当社の監査機能の強化を図っております。

コーポレート・ガバナンス体制(模式図)



2021年度内部統制システムの整備・運用状況

企業会計審議会の示す内部統制の基本的枠組みに準拠して、「内部統制システムの整備に関する基本方針」を制定及び随時見直しを図り、内部統制の整備・運用を行っています。

2015年5月1日に「会社法の一部を改正する法律」(平成26年法律第90号)及び「会社法施行規則等の一部を改正する省令」(平成27年法務省令第6号)が施行されたことにもない、2015年7月29日開催の取締役会において「内部統制システムの整備に関する基本方針」の改定を決議し、改定しました。それにもとづき、企業集団の業務の適正と監督及び監査の実効性を確保するため、グループ会社すべての会社に派生するリスクに対して、今まで以上にあらゆる可能性を認識し対応できるよう体制を強化し、内部統制システムを運用しています。

また、財務報告に係る内部統制についても、内部統制の基本的枠組みに準拠して整備運用していますが、財務報告への影響を勘案し、重要な虚偽記載の発生可能性がある事象に関しては個別に対応しています。

2021年度におきましては、再度システムを見直し、財務報告の信頼性を高め、財務報告の信頼性に重要な影響を及ぼす統制上の要点を選定し、その中で自己点検や独立的評価を適正に実施しました。

今後も、業務の適正を確保するために、あらゆるリスクを想定し体制をさらに強化することにより、内部統制の有効性を確保し企業としての社会的責任を果たしてまいります。

■リスクマネジメント

リスクマネジメント体制

不二家は食品企業として、常に「食の安全」を最優先の課題とし、食品事故の未然防止と製品の安全性を向上させるため、AIB(American Institute of Baking)国際検査統合基準による指導監査システムを導入するなど、徹底した食品安全管理体制の確立を図っています。

そのほか、事業活動に重大な影響を及ぼす恐れのある「経営リスク」・「事故・災害(環境)リスク」などに対して、事前にリスクの特定・分類・分析・評価を行い、適切に対応するために「リスク管理委員会」を設置し、迅速かつ最善の対応を図る体制を整備しています。また、必要に応じて、顧問弁護士などの専門家に助言・指導を求めています。

重大な製品事故や職場での災害リスクが顕在化した場合や、顕在化が予想される場合には、社長が委員長を務める「危機管理対策委員会」を召集し、迅速な対応を図る危機管理体制を整備しています。

東日本大震災を契機に、本社・工場では防災意識の向上と避難訓練を実施することはもちろんのこと、営業・工場の主要拠点17ヶ所に衛星電話を設置し、緊急時の連絡体制を整備しています。

情報セキュリティ対策

情報資産を過失、事故、災害、犯罪などの脅威から守り、社会とお客様の信頼に応えるため、情報セキュリティ基本方針を定めています。業務遂行上必要な情報資産について、適切なセキュリティ対策を講じ、不正アクセス、漏洩、改ざん、紛失・毀損などが発生しないよう予防を図っています。

問題が顕在化した際には、速やかに是正するように組織と体制を定め、その役割と責任者を明確にしています。また、関連諸規程並びに情報セキュリティ体制の評価と見直しを定期的・継続的に行い、適切に管理しています。

■コンプライアンス

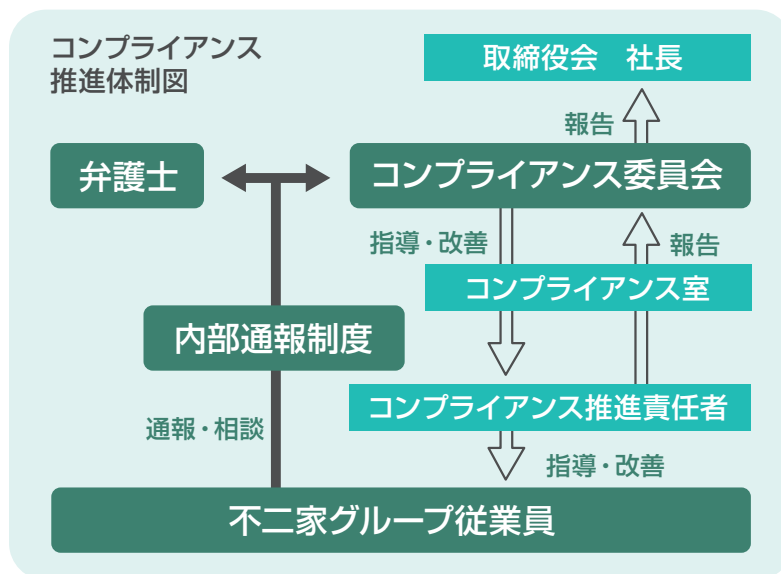
コンプライアンスを経営の基盤および重要課題と考え、公正かつ誠実な企業活動を行い、社会に対する責任を積極的に果たしています。

社会からの要請に応えるべく、コンプライアンスを「単なる法令遵守にとどめず、社内規程・ルールを守ることに加え、社会倫理にも適合していくこと」と捉え、企業価値向上を目指しています。

コンプライアンス推進体制

コンプライアンス活動を不二家グループ全体で徹底、推進していくため、取締役を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設置し、全社的な方針の制定、事故発生時の原因調査と再発防止策の策定などを行い、その結果を必要に応じて社長、取締役に報告及び提案しています。コンプライアンス室ではコンプライアンスについての意識付けや啓蒙教育を継続的に実施しています。

また、内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度を導入し、当グループの社会的信頼の維持及び業務運営の公正性の確保に努めています。



2021年度のコンプライアンス教育

従業員のコンプライアンスマインドの醸成・啓蒙は、企業価値向上のための最重要テーマと位置づけ、コンプライアンス教育に積極的、継続的に取り組んでいます。2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響から集合教育が行いにくい状況となりましたが、密を避けた少人数教育、WEB会議システムや動画を活用し実施しました。内容は、コンプライアンス意識の維持・向上や事例共有、2007年の一連の問題に留まらず、長時間労働やハラスメント、アンガーマネジメントなど社会情勢を反映させた内容としました。また、新入社員研修時やグループ会社の吸収合併時にもコンプライアンスの基本について教育し、意識向上に努めました。

内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度

不二家グループ各社内の法令違反などの未然防止と早期発見を目的として、内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度を導入しています。

この制度は、不二家グループ各社内にある事案や行動が、法令・社内規程・ルール等に違反するかどうかなど、コンプライアンスに関する相談窓口としても機能しています。

この制度を従業員が活発に利用できるよう、全従業員に企業理念や連絡先が入ったコンプライアンスヘルプラインカードを配布しているほか、外部弁護士への連絡窓口を設けることで、通報や相談がしやすい環境作りにも努めています。

●社名(商号)

株式会社不二家(FUJIYA CO., LTD.)

●代表者

代表取締役会長 山田 憲典

代表取締役社長 河村 宣行

●本社所在地

〒112-0012 東京都文京区大塚2-15-6

●創業

1910年(明治43年)11月16日

●設立

1938年(昭和13年)6月30日

●資本金

18,280百万円

●従業員数

正社員1,277名

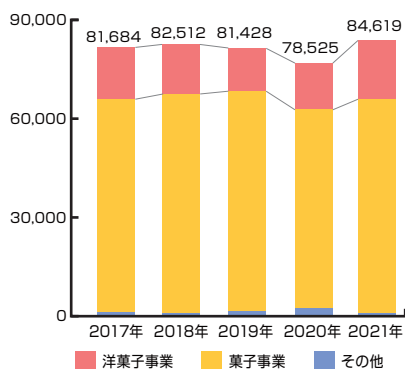
■事業内容

洋菓子事業	菓子事業	その他事業
ケーキ、デザート、アイスクリームなど 洋菓子類の製造販売、喫茶店及び飲食店の経営	チョコレート、キャンディ、クッキーなどの 製造販売	業務内容 ・キャラクターライセンス 事業 ・不二家システムセンター の事務受託業務 ・不動産の賃貸、管理など
		

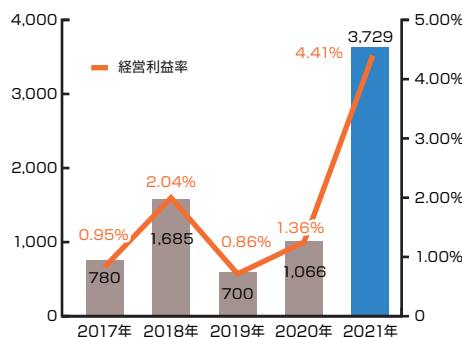
※各商品などの詳細は、不二家ウェブサイトにてご覧いただけます。 不二家ウェブサイトURL <https://www.fujiya-peko.co.jp/>

■業績推移

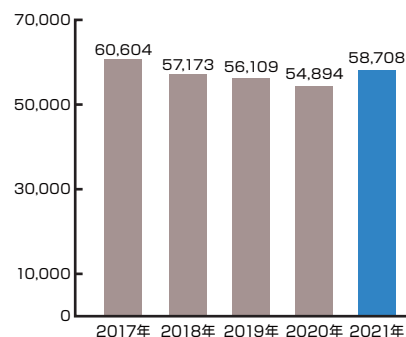
単体売上高(12月期)(単位:百万円)



単体経常利益(12月期)(単位:百万円)



単体総資産(12月期)(単位:百万円)



■事業所・工場

●営業部・支店 東京、大阪、名古屋、福岡、仙台、札幌など全国の主要地

●店舗 東京、横浜、名古屋、大阪、福岡、札幌など全国に976店舗

●工場 秦野工場／平塚工場／富士裾野工場／吉野ヶ里工場／野木工場／埼玉工場
 泉佐野工場／札幌工場／山形工場

■主要関係会社

○山崎製パン株式会社

○株式会社ダロワイヨジャパン

○株式会社不二家神戸

○B-R サーティワンアイスクリーム株式会社

○不二家飲料果実株式会社

○不二家乳業株式会社

○不二家(杭州)食品有限公司

○日本食材株式会社

○株式会社不二家システムセンター

○不二家テクノ株式会社

○テクノ保険サービス株式会社



株式会社 不二家

〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6

ウェブサイト <https://www.fujiya-peko.co.jp/>



© FUJIYA CO., LTD.

■お問い合わせについて

お便りの場合：〒112-0012 東京都文京区大塚2-15-6 株式会社不二家 広報IR部
Eメールの場合：不二家ウェブサイト内のお問い合わせ専用フォーム内をご利用ください。

本報告書記載記事の
無断転載・複製を禁じます。